股票代號：2438

翔耀實業股份有限公司及其子公司

合併財務報告暨會計師核閱報告

民國 115 年及 114 年第 2 季

公司地址：臺北市松山區南京東路 4 段 1 號 3 樓
公司電話：(02)7746-3839

翔耀實業股份有限公司及其子公司

財務報告目錄

項　　目	頁次
一、封面	1
二、目錄	2
三、會計師核閱報告	3
四、合併資產負債表	4
五、合併綜合損益表	5
六、合併權益變動表	6
七、合併現金流量表	7
八、合併財務報表附註	
(一)公司沿革	8
(二)通過財務報告之日期及程序	8
(三)新發布及修訂準則及解釋之適用	8~11
(四)重大會計政策之彙總說明	12~15
(五)重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	15
(六)重要會計項目之說明	15~38
(七)關係人交易	38~42
(八)質押之資產	42
(九)重大或有負債及未認列之合約承諾	42~45
(十)重大之災害損失	45
(十一)重大之期後事項	45
(十二)其他	46~55
(十三)附註揭露事項	55
1.重大交易事項相關資訊	55
2.轉投資事業相關資訊	55
3.大陸投資資訊	55
(十四)部門財務資訊	56~57

國富浩華聯合會計師事務所
Crowe (TW) CPAs
105405台北市松山區敦化北路122號7樓
7F., No. 122, Dunhua N. Rd., Songshan Dist., Taipei City 105405 , Taiwan
Tel +886 2 87705181
Fax +886 2 87705191
www.crowe.tw

會計師核閱報告

翔耀實業股份有限公司　公鑒

前言

翔耀實業股份有限公司及其子公司民國 115 年及 114 年 6 月 30 日之合併資產負債表，民國 115 年及 114 年 4 月 1 日至 6 月 30 日、民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併權益變動表與合併現金流量表，以及合併財務報告附註（包括重大會計政策彙總），業經本會計師核閱竣事。依證券發行人財務報告編製準則暨經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報告係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報告作成結論。

範圍

除保留結論之基礎段所述者外，本會計師係依照核閱準則 2410 號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報告時所執行之程序包括查詢（主要向負責財務與會計事務之人員查詢）、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

保留結論之基礎

如合併財務報告附註(六)9 所述，翔耀實業股份有限公司及其子公司民國 115 年及 114 年 6 月 30 日採用權益法之投資為 17,479 仟元及 14,800 仟元，暨民國 115 年及 114 年 4 月 1 日至 6 月 30 日及 1 月 1 日至 6 月 30 日採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額分別為(762)仟元、(2,145)仟元及 657 仟元、(1,056)仟元，係依該等被投資公司同期間未經會計師核閱之財務報告為依據。

保留結論

依本會計師核閱結果，除保留結論之基礎段所述採用權益法之被投資公司之財務報告及相關資訊倘經會計師核閱，對合併財務報告可能有所調整之影響外，並未發現上開合併財務報告在所有重大方面有未依照證券發行人財務報告編製準則暨經金融監督管理委員會認可並發布生效之國際會計準則第 34 號「期中財務報導」編製，致無法允當表達翔耀實業股份有限公司及其子公司民國 115 年及 114 年 6 月 30 日之合併財務狀況，民國 115 年及 114 年 4 月 1 日至 6 月 30 日、民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 6 月 30 日之合併財務績效，暨民國 115 年及 114 年 1 月 1 日至 6 月 30 日合併現金流量之情事。

國富浩華聯合會計師事務所

會計師：林志隆

會計師：王戊昌

核准文號：金管證審字第 10200032833 號

民國 115 年 8 月 12 日

翔耀實業股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國115年6月30日、114年12月31日及6月30日

單位：新台幣仟元

代碼	資產	115年6月30日 金額	%	114年12月31日 金額	%	114年6月30日 金額	%
	流動資產						
1100	現金及約當現金(附註(六)之1)	$ 91,565	5	$ 59,112	3	$ 107,191	6
1150	應收票據淨額(附註(六)之2)	2,056	-	2,483	-	2,620	-
1170	應收帳款淨額(附註(六)之3)	197,789	11	51,994	3	50,840	3
1180	應收帳款-關係人淨額(附註(六)之3、(七))	32	-	1,190	-	3,288	-
1197	應收融資租賃款淨額(附註(六)之14)	16,676	1	3,496	-	-	-
1200	其他應收款(附註(六)之4、(七))	120	-	267	-	5,588	-
1212	應收代付款(附註(六)之5)	41,608	3	295,461	16	305,991	18
1220	本期所得稅資產	200	-	423	-	331	-
130x	存貨(附註(六)之6)	286,463	16	248,913	14	43,901	3
1476	其他金融資產-流動(附註(六)之7、(八))	15,500	1	30,500	2	30,500	2
1479	其他流動資產-其他	55,503	3	30,022	2	29,883	2
11xx	流動資產合計	707,512	40	723,861	40	580,133	34
	非流動資產						
1517	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動(附註(六)之8)	79,464	4	66,430	4	83,154	5
1550	採用權益法之投資(附註(六)之9)	17,479	1	16,822	1	14,800	1
1600	不動產、廠房及設備(附註(六)之10、(八))	654,166	37	653,953	36	791,790	47
1755	使用權資產(附註(六)之11)	12,971	1	18,662	1	22,270	1
1780	無形資產(附註(六)之12)	1,797	-	1,827	-	2,032	-
1840	遞延所得稅資產	93,210	5	93,210	5	98,800	6
1915	預付設備款	11,683	1	17,629	1	8,068	1
1920	存出保證金	125,578	7	120,628	7	81,468	5
1930	長期應收票據及款項(附註(六)之13)	-	-	-	-	-	-
194D	應收融資租賃款淨額-非流動(附註(六)之14)	79,106	4	90,925	5	-	-
1995	其他非流動資產-其他	284	-	352	-	482	-
15xx	非流動資產合計	1,075,738	60	1,080,438	60	1,102,864	66
1xxx	資產總計	$ 1,783,250	100	$ 1,804,299	100	$ 1,682,997	100

(接次頁)

（承前頁）

代碼	負債及權益	115年6月30日 金額	%	114年12月31日 金額	%	114年6月30日 金額	%
	流動負債						
2100	短期借款(附註(六)之15)	$ 312,500	18	$ 373,000	21	$ 342,900	20
2130	合約負債-流動(附註(六)之26)	1,776	-	3,293	-	4,217	-
2170	應付帳款	155,589	9	238,514	13	37,931	2
2200	其他應付款(附註(六)之16)	62,796	4	61,787	3	148,332	9
2220	其他應付款項-關係人(附註(七))	-	-	4,359	-	11,027	1
2250	負債準備-流動(附註(六)之17)	1,614	-	1,671	-	1,667	-
2280	租賃負債－流動(附註(六)之11)	5,802	-	10,019	1	13,626	1
2320	一年或一營業週期內到期長期負債(附註(六)之18)	75,255	4	67,581	4	31,206	2
2399	其他流動負債-其他	6,266	-	6,429	1	7,435	-
21xx	流動負債合計	621,598	35	766,653	43	598,341	35
	非流動負債						
2540	長期借款(附註(六)之18)	544,643	31	464,398	26	405,142	24
2580	租賃負債－非流動(附註(六)之11)	7,301	-	8,912	-	8,925	1
2645	存入保證金	60	-	60	-	112	-
25xx	非流動負債合計	552,004	31	473,370	26	414,179	25
2xxx	負債總計	1,173,602	66	1,240,023	69	1,012,520	60
	權益						
	歸屬於母公司業主之權益						
3100	股本(附註(六)之20)						
3110	普通股股本	711,956	40	651,956	36	651,956	39
3200	資本公積(附註(六)之21)	66,621	4	77,328	5	72,318	4
	保留盈餘(附註(六)之22)						
3310	法定盈餘公積	-	-	433	-	433	-
3320	特別盈餘公積	3,900	-	3,900	-	3,900	-
3350	未分配盈餘	(329,139)	(19)	(338,759)	(19)	(225,880)	(13)
3300	保留盈餘合計	(325,239)	(19)	(334,426)	(19)	(221,547)	(13)
3400	其他權益(附註(六)之23)	(54,570)	(3)	(52,604)	(3)	(65,880)	(4)
3500	庫藏股票(附註(六)之24)	(17,920)	(1)	(17,920)	(1)	(17,920)	(1)
31xx	歸屬於母公司業主之權益合計	380,848	21	324,334	18	418,927	25
36xx	非控制權益(附註(六)之25)	228,800	13	239,942	13	251,550	15
3xxx	權益總計	609,648	34	564,276	31	670,477	40
	負債及權益總計	$ 1,783,250	100	$ 1,804,299	100	$ 1,682,997	100

（請參閱後附合併財務報告附註）

董事長：　　經理人：　　會計主管：

翔耀實業股份有限公司及子公司

合併綜合損益表

民國115年及114年4月1日至6月30日暨民國115年及114年1月1日至6月30日

單位：新台幣仟元

代碼	項目	115.4.1～6.30 金額	%	114.4.1～6.30 金額	%	115.1.1～6.30 金額	%	114.1.1～6.30 金額	%
4000	營業收入(附註(六)之26)	$ 120,992	100	$ 124,266	100	$ 291,676	100	$ 218,849	100
5000	營業成本(附註(六)之6)	(117,709)	(97)	(91,805)	(74)	(262,758)	(90)	(155,622)	(71)
5900	營業毛利(毛損)	3,283	3	32,461	26	28,918	10	63,227	29
	營業費用								
6100	推銷費用	(22,104)	(18)	(20,018)	(16)	(49,717)	(17)	(44,552)	(20)
6200	管理費用	(24,069)	(20)	(22,234)	(18)	(45,951)	(16)	(43,972)	(20)
6300	研究發展費用	(3,004)	(3)	(3,781)	(3)	(6,283)	(2)	(7,422)	(4)
6450	預期信用減損(損失)利益	(21)	-	(59)	-	414	-	32	-
6000	營業費用合計	(49,198)	(41)	(46,092)	(37)	(101,537)	(35)	(95,914)	(44)
6900	營業利益(損失)	(45,915)	(38)	(13,631)	(11)	(72,619)	(25)	(32,687)	(15)
	營業外收入及支出								
7100	利息收入(附註(六)之27)	1,106	1	465	-	1,884	1	540	-
7010	其他收入(附註(六)之28)	4,951	4	2,222	2	6,191	2	4,168	2
7020	其他利益及損失(附註(六)之29)	(3,519)	(3)	(5,124)	(4)	(3,223)	(1)	(4,774)	(2)
7050	財務成本(附註(六)之30)	(7,740)	(6)	(6,455)	(5)	(15,752)	(5)	(13,169)	(6)
7060	採用權益法認列之關聯企業及合資損益之份額	(762)	(1)	(2,145)	(2)	657	-	(1,056)	-
7000	營業外收入及支出合計	(5,964)	(5)	(11,037)	(9)	(10,243)	(3)	(14,291)	(6)
7900	稅前淨利(淨損)	(51,879)	(43)	(24,668)	(20)	(82,862)	(28)	(46,978)	(21)
7950	所得稅(費用)利益(附註(六)之32)	-	-	16	-	-	-	16	-
8200	本期淨利(淨損)	(51,879)	(43)	(24,652)	(20)	(82,862)	(28)	(46,962)	(21)
	本期其他綜合損益(附註(六)之33)								
8310	不重分類至損益之項目								
8316	透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	(1,554)	(1)	(13,308)	(11)	(1,966)	(1)	(15,516)	(7)
8300	本期其他綜合損益(淨額)	(1,554)	(1)	(13,308)	(11)	(1,966)	(1)	(15,516)	(7)
8500	本期綜合損益總額	($ 53,433)	(44)	($ 37,960)	(31)	($ 84,828)	(29)	($ 62,478)	(28)
8600	淨利(損)歸屬於：								
8610	母公司業主(淨利/損)	($ 41,074)	(34)	($ 20,670)	(17)	($ 61,376)	(21)	($ 34,926)	(16)
8620	非控制權益(淨利/損)	(10,805)	(9)	(3,982)	(3)	(21,486)	(7)	(12,036)	(5)
		($ 51,879)	(43)	($ 24,652)	(20)	($ 82,862)	(28)	($ 46,962)	(21)
8700	綜合損益總額歸屬於：								
8710	母公司業主(綜合損益)	($ 42,628)	(35)	($ 29,605)	(24)	($ 63,342)	(22)	($ 46,557)	(21)
8720	非控制權益(綜合損益)	(10,805)	(9)	(8,355)	(7)	(21,486)	(7)	(15,921)	(7)
		($ 53,433)	(44)	($ 37,960)	(31)	($ 84,828)	(29)	($ 62,478)	(28)
	每股盈餘(虧損)(附註(六)之34)								
9750	基本(稀釋)每股盈餘(虧損)(元)	($ 0.62)		($ 0.33)		($ 0.94)		($ 0.56)	

(請參閱後附合併財務報告附註)

董事長：　　經理人：　　會計主管：

翔耀實業股份有限公司及子公司

合併權益變動表

民國115年及114年1月1日至6月30日

單位：新台幣仟元

項目	歸屬於母公司業主之權益									
			保留盈餘			其他權益項目				
	普通股股本	資本公積	法定盈餘公積	特別盈餘公積	未分配盈餘	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現評價(損)益	庫藏股票	歸屬於母公司業主權益總計	非控制權益	權益總額
114年1月1日餘額	$ 651,956	$ 72,318	$ 433	$ 3,900	($ 190,954)	($ 54,249)	($ 17,920)	$ 465,484	$ 267,471	$ 732,955
114年1月1日至6月30日淨利(淨損)	-	-	-	-	(34,926)	-	-	(34,926)	(12,036)	(46,962)
114年1月1日至6月30日其他綜合損益	-	-	-	-	-	(11,631)	-	(11,631)	(3,885)	(15,516)
114年1月1日至6月30日綜合損益總額	-	-	-	-	(34,926)	(11,631)	-	(46,557)	(15,921)	(62,478)
非控制權益增減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
114年6月30日餘額	$ 651,956	$ 72,318	$ 433	$ 3,900	($ 225,880)	($ 65,880)	($ 17,920)	$ 418,927	$ 251,550	$ 670,477
115年1月1日餘額	$ 651,956	$ 77,328	$ 433	$ 3,900	($ 338,759)	($ 52,604)	($ 17,920)	$ 324,334	$ 239,942	$ 564,276
法定盈餘公積彌補虧損	-	-	(433)	-	433	-	-	-	-	-
資本公積彌補虧損	-	(70,707)	-	-	70,707	-	-	-	-	-
115年1月1日至6月30日淨利(淨損)	-	-	-	-	(61,376)	-	-	(61,376)	(21,486)	(82,862)
115年1月1日至6月30日其他綜合損益	-	-	-	-	-	(1,966)	-	(1,966)	-	(1,966)
115年1月1日至6月30日綜合損益總額	-	-	-	-	(61,376)	(1,966)	-	(63,342)	(21,486)	(84,828)
現金增資	60,000	60,000	-	-	-	-	-	120,000	-	120,000
實際取得或處分子公司股權價格與帳面價值差額	-	-	-	-	(144)	-	-	(144)	-	(144)
非控制權益增減	-	-	-	-	-	-	-	-	10,344	10,344
115年6月30日餘額	$ 711,956	$ 66,621	$ -	$ 3,900	($ 329,139)	($ 54,570)	($ 17,920)	$ 380,848	$ 228,800	$ 609,648

(請參閱後附合併財務報告附註)

董事長:　　經理人:　　會計主管:

翔耀實業股份有限公司及子公司

合併現金流量表

民國115年及114年1月1日至6月30日

單位：新台幣仟元

項　　目	115.1.1～6.30	114.1.1～6.30
營業活動之現金流量		
本期稅前淨利(淨損)	($ 82,862)	($ 46,978)
調整項目		
收益費損項目		
折舊費用	26,025	19,576
攤銷費用	445	666
預期信用減損損失(利益)數	(414)	(32)
利息費用	14,650	11,387
利息收入	(1,884)	(540)
股利收入	(83)	-
採用權益法認列之關聯企業及合資損失(利益)之份額	(657)	1,056
處分及報廢不動產、廠房及設備損失(利益)	292	(9)
不動產、廠房及設備轉列損失數	1,213	-
與營業活動相關之資產/負債變動數		
與營業活動相關之資產之淨變動		
應收票據(增加)減少	427	(1,035)
應收帳款(增加)減少	107,328	16,481
應收帳款－關係人(增加)減少	40	871
其他應收款(增加)減少	147	(54)
其他應收款－關係人(增加)減少	-	(4,726)
應收代付款(增加)減少	-	(43,929)
存貨(增加)減少	(35,287)	(275)
其他流動資產(增加)減少	(26,779)	(192)
與營業活動相關之負債之淨變動		
合約負債增加(減少)	(1,517)	737
應付帳款(含關係人)增加(減少)	(82,925)	(671)
其他應付款增加(減少)	3,722	(39,999)
其他應付款－關係人增加(減少)	(4,359)	-
負債準備增加(減少)	(57)	394
其他流動負債增加(減少)	(163)	(2,703)
營運產生之現金流入(流出)	(82,698)	(89,975)
收取之利息	522	540
收取之股利	83	-
支付之利息	(14,710)	(11,190)
退還(支付)之所得稅	223	(3,495)
營業活動之淨現金流入(流出)	(96,580)	(104,120)

(接次頁)

（承前頁）

投資活動之現金流量		
取得透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產	(15,000)	-
處分子公司收取之價款	10,200	-
取得不動產、廠房及設備	(4,263)	(54,522)
處分不動產、廠房及設備	81	100
存出保證金(增加)減少	(4,950)	(728)
取得無形資產	(347)	(115)
其他金融資產(增加)減少	15,000	(30,500)
預付設備款(增加)減少	(13,279)	(4,069)
投資活動之淨現金流入(流出)	(12,558)	(89,834)
籌資活動之現金流量		
短期借款增加(減少)	(60,500)	99,900
長期借款增加(減少)(含一年內到期)	87,919	42,948
存入保證金增加(減少)	-	61
租賃本金償還	(5,828)	(6,229)
現金增資	120,000	-
籌資活動之淨現金流入(流出)	141,591	136,680
本期現金及約當現金增加(減少)數	32,453	(57,274)
期初現金及約當現金餘額	59,112	164,465
期末現金及約當現金餘額	$ 91,565	$ 107,191

（請參閱後附合併財務報告附註）

董事長:　　經理人:　　會計主管:

翔耀實業股份有限公司及其子公司

合併財務報告附註

民國115年及114年1月1日至6月30日

（金額除特別註明者外，均以新台幣仟元為單位）

(一)公司沿革

翔耀實業股份有限公司(以下簡稱本公司)成立於71年1月,原名英誌企業股份有限公司，於103年7月更名為翔耀實業股份有限公司，主要從事表面處理業、照明設備、電子零組件、電腦及其週邊設備、家電、模具、五金製品、機電設備及無店面零售與其他零售等之加工、製造及銷售業務。本公司股票自85年12月起於櫃檯買賣中心掛牌交易，並於89年9月起轉至台灣證券交易所上市買賣。

本公司及本公司之子公司(以下簡稱為本集團)之主要營運活動，請參閱附註(四)之3.(2)之說明。另本公司並無最終母公司。

(二)通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於115年8月12日經董事會通過發布。

(三)新發布及修訂準則及解釋之適用

1. 已採用金融監督管理委員會（以下簡稱「金管會」）認可並發布生效之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告（以下簡稱「IFRSs」）之影響：下表彙列金管會認可之115年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB發布之生效日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「金融工具之分類與衡量之修正」	2026 年 1 月 1 日
IFRS 9 及 IFRS 7 之修正「涉及依賴自然電力的合約」	2026 年 1 月 1 日
IFRS 17「保險合約」	2023 年 1 月 1 日
IFRS 17「保險合約」之修正	2023 年 1 月 1 日
IFRS 17 之修正「初次適用 IFRS 17 及 IFRS 9-比較資訊」	2023 年 1 月 1 日
IFRS 會計準則之年度改善-第 11 冊	2026 年 1 月 1 日

除下列所述者外,本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(1) IFRS 9及 IFRS 7之修正「金融工具之分類與衡量之修正」

A. 釐清並增加評估金融資產是否符合僅支付本金和利息(SPPI)標準的進一步指引， 範圍包括根據或有事件改變現金流量的合約條款(例如與ESG 目標連結的利率)、無追索權特性之工具，及合約連結工具。

B. 新增為某些具有可改變現金流量的合約條款的工具(例如某些具有與實現環境、社會和治理(ESG)目標相關的特徵之工具)，應揭露或有事

項性質之質性描述；有關可能來自該等合約條款之合約現金流量變動範圍之量化資訊；及於該等合約條款下，金融資產之總帳面金額及金融負債之攤銷後成本。

C. 釐清某些金融資產和負債的認列和除列之日期，新增在使用電子支付系統以現金交割金融負債(或部分金融負債)時，當且僅當企業發起支付指令並導致以下情況時,允許企業在交割日前視為將金融負債解除:

(A) 企業不具有撤銷、停止或取消支付指定之能力；

(B) 企業因該支付指令而不具有取得用於交割之現金之實際能力；

(C) 與該電子支付系統相關之交割風險並不重大。

D. 更新透過不可撤銷之選擇指定為透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具(FVTOCI)應按每一種類揭露其公允價值，無須再按每一標的揭露其公允價值資訊。另應揭露於報導期間認列於其他綜合損益之公允價值損益金額，分別列示於報導期間內除列之投資有關之公允價值損益金額，及於報導期間結束日仍持有之投資有關之公允價值損益金額；以及於報導期間除列投資而於報導期間移轉至權益之累積損益。

(2) IFRS 9及 IFRS 7之修正「涉及自然電力的合約」

此修正就企業涉及因發電來源取決於不可控的自然條件(例如天氣)的基礎，產生電量變化的合約，分別說明如下：

A. 釐清企業購買或銷售自然電力的合約對於「自用」要求的應用：

當合約規定企業有義務在發電時購買並接收電力，且合約電力交易市場的設計和營運要求企業在規定時間內出售任何數量的未使用電力，則企業須考量有關其在不超過12個月合理時間內對於過去、當前和預期未來電力交易的合理且有支持的資訊，當其購買足夠的電力來抵消在其售電的同一市場中銷售的任何未使用的電力，則該企業是電力的淨購買者。

新增應用修正案為自用之涉及自然電力的合約，須揭露：

(A) 企業面臨基礎電量的變化以及企業可能被要求在無法使用電力的交付間隔期間購買電力的風險；

(B) 未認列的合約承諾，包括根據這些合約購電預計的未來現金流量；和

(C) 合約於報告期間內對企業財務績效的影響。

B. 釐清指定涉及自然電力的合約為避險工具如何得以適用避險會計：

得將被避險項目指定為預測電力交易的可變名義金額，該金額與預期由避險工具中提及的發電設施交付的自然電力的可變金額一致。另在現金流量避險關係中，當指定涉及自然電力的合約作為避險工具，是以指定的預期交易的發生為條件，則該預期交易被推定為極有可能發生。

對於將涉及自然電力的合約指定為避險工具之企業，應按IFRS 7依風險類別進行分類之避險工具揭露其條款及條件。

(3) IFRS 17「保險合約」

IFRS 17「保險合約」代 IFRS 4並建立企業所發行保險合約之認列、衡量、表達及揭露原則。此準則適用於企業所發行之保險合約(包含再保險合約)、所持有之再保險合約及所發行之具裁量參與特性之投資合約，前提是該企業亦發行保險合約。嵌入式衍生工具、可區分之投資組成部分及可區分之履約義務應與保險合約分離。於原始認列時，企業應將所發行保險合約組合分為三群組：虧損性、無顯著風險成為虧損性及剩餘合約群組。IFRS 17要求現時衡量模式，於每一報導期間再衡量該等估計。衡量係基於合約之折現及機率加權後之現金流量、風險調整及代表合約未賺得利潤(合約服務邊際)之要素。企業得對部分保險合約適用簡化衡量方法(保費分攤法)。於企業提供保險保障期間及企業自風險解除時認列保險合約群組所產生之收益。若保險合約群組成為虧損，企業立即認列損失。企業應分別列報保險收入、保險服務費用及保險財務收益及費用，並須揭露有關來自於保險合約之金額、判斷及風險資訊。

(4) IFRS 17「保險合約」之修正

此修正包括遞延生效日、保險取得現金流量之預期回收、可歸屬於投資服務之合約服務邊際、所持有之再保險合約-損失之回收及其他等修正，該等修正並未改變準則之基本原則。

(5) IFRS 17之修正「初次適用IFRS 17及 IFRS 9-比較資訊」

此修正允許企業於初次適用IFRS 17所列報之各比較期間選擇適用分類覆蓋法。此選擇允許企業對於所有金融資產，包括該等並未與IFRS 17範圍內之合約連結之活動所持有者，按逐項工具基礎，於比較期間基於其預期對該等資產於初次適用IFRS 9時將如何分類，分類該等金融資產。已適用IFRS 9或將同時初次適用IFRS 9及IFRS 17之企業得選擇適用分類覆蓋法。

2. 尚未採用經金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之116年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日
IFRS 18「財務報表中之表達與揭露」	2027 年 1 月 1 日(註 1)
IFRS 19「不具公共課責性之子公司：揭露」	2027 年 1 月 1 日
IAS 21 之修正「換算為高度通貨膨脹貨幣」	2027 年 1 月 1 日
IAS 28 之修正「對投資關聯企業及合資之公允價值選項之修正」	2027 年 1 月 1 日(註 2)

註 1：企業於 2028 年 1 月 1 日起適用 IFRS 18，並得選擇提前適用 IFRS 18 規定。

註 2：尚未適用 IFRS 18 之企業不適用。

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(1) IFRS 18「財務報表中之表達與揭露」

IFRS 18「財務報表中之表達與揭露」取代IAS 1並更新綜合損益表之架構，及新增管理績效衡量之揭露，並強化運用於主要財務報表及附註之彙總及細分原則。

(2) IFRS 19「不具公共課責性之子公司：揭露」

此準則允許合格子公司適用減少揭露要求之 IFRS 會計準則。

(3) IAS 21 之修正「換算為高度通貨膨脹貨幣」

此修正新增從非高度通貨膨脹經濟之功能性貨幣換算為高度通貨膨脹經濟下之表達貨幣時，所有金額(含比較金額)須採用最近一期財務狀況表日之收盤匯率換算。而此修正亦包括一項例外，針對功能性貨幣及表達貨幣均為高度通貨膨脹經濟下之貨幣，且其國外營運機構為非高度通貨膨脹經濟下之功能性貨幣之企業，免於重新換算比較金額。並新增揭露包含換算方法及適用該換算方法之國外營運機構之彙總財務資訊。

(4) IAS 28之修正「對投資關聯企業及合資之公允價值選項之修正」

此修正闡明哪些個體符合依IFRS 9之規定透過損益按公允價值衡量投資關聯企業及合資之條件。

3. 國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響：

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布／修正／修訂準則及解釋	IASB 發布之生效日
IFRS 10 及 IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待 IASB 決定
IFRS 20「管制資產及管制負債」	2029 年 1 月 1 日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(1) IFRS 10 及IAS 28 之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」

此修正解決了現行IFRS 10 及 IAS 28 的不一致。投資者出售(投入)資產與其關聯企業或合資之交易，視出售(投入)資產之性質決定認列全部或部份處分損益：

A. 當出售(投入)之資產符合「業務」時，認列全部處分損益；

B. 當出售(投入)之資產不符合「業務」時，僅能認列與非關係投資者對關聯企業或合資之權益範圍內之部分處分損益。

截至本合併財務報告發布日止，本集團仍持續評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效之影響，相關影響待評估完成時予以揭露。

(四)重大會計政策之彙總說明

重大會計政策除遵循聲明、編製基礎、合併基礎及新增部分說明如下，餘與114年度合併財務報告附註(四)相同。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

1. 遵循聲明

本合併財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可並發布生效之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。本合併財務報告應併同114年度合併財務報告閱讀。

2. 編製基礎

(1) 除下列重要項目外，本合併財務報表係按歷史成本基礎編製：

A. 按公允價值衡量之透過損益按公允價值衡量之金融資產及負債(包括衍生工具)。

B. 按公允價值衡量之透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產。

C. 按公允價值衡量之現金交割股份基礎給付協議之負債。

D. 按退休基金資產減除確定福利義務現值之淨額認列之確定福利負債。

(2) 編製符合金管會認可之IFRSs之財務報告需要使用一些重要會計估計值，在應用本集團的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷,涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請詳附註(五)說明。

3. 合併基礎

(1) 合併財務報告編製原則：

A. 本集團將所有子公司納入合併財務報告編製之個體。子公司係指受本集團控制之個體(包括結構型個體)，當本集團暴露於來自對該個體之參與之變動報酬或對該等變動報酬享有權利，且透過對該個體之權力有能力影響該等報酬時，本集團即控制該個體。子公司自本集團取得控制之日起納入合併財務報告，於喪失控制之日起終止合併。

B. 集團內公司間之交易、餘額及未實現損益業已銷除。子公司之會計政策已作必要之調整，與本集團採用之政策一致。

C. 損益及其他綜合損益各組成部分歸屬於母公司業主及非控制權益；綜合損益總額亦歸屬於母公司業主及非控制權益，即使因而導致非控制權益發生虧損餘額。

D. 對子公司持股之變動若未導致喪失控制(與非控制權益之交易)，係作為權益交易處理，亦即視為與業主間進行之交易。非控制權益之調整金額與所支付或收取對價之公允價值間之差額係直接認列於權益。

E. 當集團喪失對子公司之控制，對前子公司之剩餘投資係按公允價值重新衡量，並作為原始認列金融資產之公允價值或原始認列投資關聯企

業或合資之成本，公允價值與帳面金額之差額認列為當期損益。對於先前認列於其他綜合損益與該子公司有關之所有金額，其會計處理與本集團若直接處分相關資產或負債之基礎相同，亦即如先前認列為其他綜合損益之利益或損失，於處分相關資產或負債時將被重分類為損益，則當喪失對子公司之控制時，將該利益或損失自權益重分類為損益。

(2) 列入合併財務報告之子公司如下：

投資公司名稱	子公司名稱	主要營業項目	持股或出資比例 115.6.30	114.12.31	114.6.30	說明
翔耀實業股份有限公司	勁耘科技股份有限公司	電子零組件、玻璃及玻璃製品、電腦及其週邊設備等加工製造及銷售業務	53.45%	53.45%	53.45%	
勁耘科技股份有限公司	嵩達光電科技股份有限公司	電子零組件、電器及視聽電子產品等產銷業務	49.90%	53.99%	53.99%	C

A. 上列編入合併財務報告之子公司財務報告，皆經會計師核閱。

B. 合併子公司增減情形：無。

C. 勁耘科技股份有限公司於115年3月處分該公司股份1,200仟股，持股比例由53.99%下降為49.90%。

(3) 未列入合併財務報告之子公司：無。

(4) 子公司會計期間不同之調整及處理方式：無。

(5) 子公司將資金移轉予母公司之能力受重大限制者，該限制之本質與程度：無。

(6) 子公司持有母公司發行證券之內容：請參閱附註(六)之24說明。

(7) 具重大非控制權益之子公司資訊：

		115 年 6 月 30 日	
子公司名稱	持股比例	非控制權益	分配予非控制權益之損益
勁耘科技股份有限公司	46.55%	$ 228,800	($ 21,486)

		114 年 12 月 31 日	
子公司名稱	持股比例	非控制權益	分配予非控制權益之損益
勁耘科技股份有限公司	46.55%	$ 239,942	($ 23,644)

		114 年 6 月 30 日	
子公司名稱	持股比例	非控制權益	分配予非控制權益之損益
勁耘科技股份有限公司	46.55%	$ 251,550	($ 12,036)

A. 上列子公司主要營業場所及公司註冊之國家資訊，請參閱附註(十三)附表五。

B. 彙總性財務資訊如下：

(A) 資產負債表：

	勁耘科技股份有限公司及其子公司		
	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
流動資產	$ 222,194	$ 225,856	$ 231,791
非流動資產	704,968	707,343	760,768
流動負債	(181,225)	(182,272)	(210,791)
非流動負債	(317,012)	(299,209)	(294,623)
權益	$ 428,925	$ 451,718	$ 487,145

(B) 綜合損益表：

	勁耘科技股份有限公司及其子公司	
	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
收入	$ 74,080	$ 105,530
本期淨利(損)	($ 16,973)	($ 4,562)
其他綜合損益(稅後淨額)	(3,450)	(4,620)
本期綜合損益總額	($ 20,423)	($ 9,182)
淨利歸屬於非控制權益	($ 10,805)	($ 3,982)
綜合損益總額歸屬於非控制權益	($ 10,805)	($ 8,355)
支付予非控制權益股利	$ -	$ -

	勁耘科技股份有限公司及其子公司	
	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
收入	$ 138,138	$ 172,163
本期淨利	($ 34,044)	($ 19,150)
其他綜合損益(稅後淨額)	1,050	(3,122)
本期綜合損益總額	($ 32,994)	($ 22,272)
淨利歸屬於非控制權益	($ 21,486)	($ 12,036)
綜合損益總額歸屬於非控制權益	($ 21,486)	($ 15,921)
支付予非控制權益股利	$ -	$ -

(C) 現金流量表：

	勁耘科技股份有限公司及其子公司	
	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
營業活動之淨現金流入(出)	($ 26,902)	$ 4,816
投資活動之淨現金流入(出)	30,799	(79,257)
籌資活動之淨現金流入(出)	21,462	28,217
本期現金及約當現金減少數	25,359	(46,224)
期初現金及約當現金餘額	53,346	132,292
期末現金及約當現金餘額	$ 78,705	$ 86,068

4. 所得稅

所得稅費用係當期所得稅及遞延所得稅之總和。期中期間之所得稅係以年度為基礎進行評估，以預期年度總盈餘所適用之稅率，就期中稅前利益予以計算。期中期間因稅法修正發生之稅率變動影響係與產生租稅後果之交易本身會計處理原則一致，於發生當期一次認列。

5. 退職後福利

期中期間之退休金成本係採用前一財務年度結束日依精算決定之退休金成本率，以年初至當期期末為基礎計算，並針對本期之重大市場波動及重大計畫修正、清償或其他重大一次性事項加以調整。

(五)重大會計判斷、估計及假設不確定之主要來源

除下列說明外，本集團編製合併財務報告時，所作之重大判斷、重大會計估計及假設不確定性之主要來源與114年度合併財務報告之附註(五)一致。

(六)重要會計項目之說明

1. 現金及約當現金

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
現　　金	$ 385	$ 380	$ 324
活期存款	84,809	35,685	67,100
外幣存款	1,593	13,332	26,582
定期存款-原始到期日在三個月內	4,778	9,715	13,185
合　　計	$ 91,565	$ 59,112	$ 107,191

(1) 本集團往來之金融機構信用品質良好，且本集團與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。

(2) 本集團未有將現金及約當現金提供質押之情形。

2. 應收票據淨額

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
應收票據	$ 2,056	$ 2,483	$ 2,620
減：備抵損失	–	–	–
應收票據淨額	$ 2,056	$ 2,483	$ 2,620

(1) 截至115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日，本集團應收票據未貼現或提供作為擔保品。

(2) 有關應收票據備抵損失之相關揭露請詳下列應收帳款。

3. 應收帳款淨額

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
按攤銷後成本衡量			
應收帳款	$ 202,443	$ 52,301	$ 52,599
應收帳款-關係人	38	4,625	6,945
減: 備抵損失	(4,660)	(3,742)	(5,416)
應收帳款淨額	$ 197,821	$ 53,184	$ 54,128

(1) 本集團對商品銷售產生之應收帳款，翔耀公司平均授信期間為貨到付現或月結30~120天，係依據交易對手之產業特性、營業規模及獲利狀況所訂定之授信標準。

(2) 本集團未有將應收帳款提供質押之情形。

(3) 本集團之應收帳款係按攤銷後成本衡量，無應收票據貼現在外。

(4) 本集團採用簡化作法按存續期間預期信用損失認列應收票據及應收帳款之備抵損失。存續期間預期信用損失係考量客戶過去違約紀錄與現時財務及產經狀況，並同時考量產業展望及信用評等以調整歷史及現實資訊所建立之損失率。因本集團之信用損失歷史經驗顯示，不同客戶群之損失型態並無顯著差異，因此準備矩陣未進一步區分客戶群，僅以應收帳款逾期天數訂定預期信用損失率。本集團依準備矩陣衡量應收票據及應收帳款之備抵損失(含關係人)如下：

115 年 6 月 30 日	總帳面金額	備抵損失(存續期間預期信用損失)	攤銷後成本
未逾期	$ 185,449	($ 921)	$ 184,528
逾期 3 個月內	10,915	(4)	10,911
逾期 4~6 個月	1,055	(21)	1,034
逾期 7~12 個月	2,811	(132)	2,679
逾期超過 1 年	4,307	(3,582)	725
合　　計	$ 204,537	($ 4,660)	$ 199,877

114 年 12 月 31 日	總帳面金額	備抵損失(存續期間預期信用損失)	攤銷後成本
未逾期	$ 51,666	($ 203)	$ 51,463
逾期 3 個月內	2,664	(5)	2,659
逾期 4~6 個月	433	-	433
逾期 7~12 個月	-	-	-
逾期超過 1 年	4,646	(3,534)	1,112
合　　計	$ 59,409	($ 3,742)	$ 55,667

114 年 6 月 30 日	總帳面金額	備抵損失(存續期間預期信用損失)	攤銷後成本
未逾期	$ 54,150	($ 568)	$ 53,582
逾期 3 個月內	22	-	22
逾期 4~6 個月	513	(513)	-
逾期 7~12 個月	-	-	-
逾期超過 1 年	7,479	(4,335)	3,144
合　　計	$ 62,164	($ 5,416)	$ 56,748

本集團上述各帳齡區間之預期信用損失率(排除異常款項應100%提列)，未逾期及逾期3個月內為0.5%～1%；逾期4～12個月為2%～50%，逾期1年以上為100%。

(5) 應收票據及應收帳款備抵損失(含關係人)變動如下：

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
期初餘額	$ 3,742	$ 5,474
加：減損損失提列	918	-
減：減損損失迴轉	-	(58)
期末餘額	$ 4,660	$ 5,416

本集團對該等應收帳款並未持有任何擔保品或其他信用增強保障。

(6) 相關信用風險管理及評估方式請詳附註(十二)。

4. 其他應收款

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
其他應收款-關係人	$ -	$ 1,811	$ 5,448
其　　他	1,931	267	140
減：備抵損失	(1,811)	(1,811)	-
合　　計	$ 120	$ 267	$ 5,588

(1) 本集團考量其他應收款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。若有逾時得針對逾時之其他應收款項參考交易對方過去拖欠紀錄及分析其目前財務狀況後，予以提列備抵損失。

(2) 本集團未有將其他應收款提供作質押擔保之情形。

5. 應收代付款

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
應收代付款-已出貨	$ -	$ 252,923	$ 73,180
應收代付款-未出貨	43,917	46,179	233,180
減：備抵損失	(2,309)	(3,641)	(369)
合　　計	$ 41,608	$ 295,461	$ 305,991

(1) 應收代付款主係本集團為國防部採購契約及其他專案為客戶之代採購款。於決定應收代付款可回收性時，本公司考量應收代付款自原始授信日至資產負債表日信用品質之任何改變。若有逾時得針對逾期之應收代付款項參考交易對方過去拖欠記錄及分析其目前財務狀況後，予以提列備抵損失。

(2) 本集團114年12月31日及114年6月30日評估以代理人身份替客戶提供商品仲介服務，於商品之控制移轉、無後續履約義務且應收代付款可收回時認列代理收入。本集團以代理人身分替客戶代採購之金額，帳列應收代付款。

(3) 本集團於115年6月30日及114年12月31日應收代付款-未出貨43,917仟元及46,179仟元，係尚未收回存於第三方廣九物流股份有限公司之國軍標案商品，請詳附註(九)之2(5)之說明。

(4) 上述應收代付款提供質押擔保之情形，請參閱附註(八)之說明。

(5) 相關信用風險管理及評估方式請詳附註(十二)。

6. 存貨及銷貨成本

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
原　物　料	$ 14,573	$ 12,609	$ 9,013
半　成　品	1,345	1,367	979
在　製　品	5,067	4,892	5,069
製　成　品	11,035	14,713	11,281
商品-一般	8,211	11,042	17,559
商品-國軍標案	246,232	204,290	-
合　　計	$ 286,463	$ 248,913	$ 43,901

(1) 當期認列為銷貨成本之存貨相關(損)益如下：

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
出售存貨成本	$ 79,407	$ 66,123
倉儲成本	11,311	-
加工成本	18,627	16,444
未分攤製造費用	3,783	7,962
存貨跌價損失(回升利益)	3,298	1,407
下腳收入	(183)	(131)
存貨盤(盈)虧	1,466	-
營業成本合計	$ 117,709	$ 91,805

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
出售存貨成本	$ 194,652	$ 108,652
倉儲成本	19,386	-
加工成本	34,883	28,572
未分攤製造費用	7,866	16,971
存貨跌價損失(回升利益)	5,928	1,558
下腳收入	(183)	(131)
存貨盤(盈)虧	226	-
營業成本合計	$ 262,758	$ 155,622

(2) 本集團於115年及114年4至6月與115年及114年1至6月將存貨沖減至淨變現價值，或因調漲部分產品價格及消化部分庫存而致存貨淨變現價值回升，因而認列存貨跌價損失(回升利益)分別為3,298仟元、1,407仟元、5,928仟元及1,558仟元。

(3) 本集團於115年6月30日及114年12月31日商品存貨-國軍標案商品246,232仟元及204,290仟元，係本集團完成國防部採購契約修訂後成為第一成員主辦運營業務及供應鏈管理，於114年12月31日前將依契約履行交貨予空軍之貨品收回由本集團自主管理倉儲物流及供售站經營之存貨，請詳附註(十二)1之說明。

(4) 上述存貨提供質押擔保之情形，請參閱附註(八)之說明。

7. 其他金融資產-流動

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
質押定期存款	$ 15,500	$ 30,500	$ 30,000
定期存款-原始到期日超	-	-	500
過三個月以上	$ 15,500	$ 30,500	$ 30,500

8. 透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
權益工具			
國內外非上市櫃公司股票	$ 134,034	$ 119,034	$ 149,034
評價調整	(54,570)	(52,604)	(65,880)
合　　計	$ 79,464	$ 66,430	$ 83,154

(1) 本集團選擇將為穩定收取股利之舒和實業股份有限公司投資分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產，該等投資於115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日之公允價值分別為8,701仟元、9,961仟元及9,257仟元。

(2) 本集團依中長期策略目的投資優美股份有限公司、衡昱電商股份有限公司、愛國者綠能科技股份有限公司、BELL & WYSON SAS及仲碩科技股份有限公司，並預期透過長期投資獲利。本集團管理階層認為若將該等投資之短期公允價值波動列入損益，與前述長期投資規劃並不一致，因此選擇指定該等投資為透過其他綜合損益按公允價值衡量。

(3) 本集團於115年4月參與仲碩科技股份有限公司現金增資計畫，以每股30元認購500仟股，該現金增資計劃已於115年7月完成增資變更登記。

(4) 115年度本集團獲舒和實業股份有限公司配發現金股利83仟元。

(5) 本集團於114年5月26日董事會通過，處分愛國者綠能科技股份有限公司股權，已於114年7月及9月共出售3,000仟股，每股10元，處分利益為0仟元。

(6) 相關信用風險管理及評估方式請詳附註(十二)。

(7) 上述金融資產均未有提供作質押擔保之情形。

9. 採用權益法之投資

	持股比率					
	115年6月30日		114年12月31日		114年6月30日	
被投資公司	帳面金額	持股%	帳面金額	持股%	帳面金額	持股%
關聯企業：						
Sino Digit Technology Limited	$ -	27%	$ -	27%	$ -	27%
家庭雲端股份有限公司	17,479	33.13%	16,822	33.13%	14,800	39.71%
合計	$17,479		$16,822		$14,800	

註：上述關聯企業之業務性質，主要營業場所及公司註冊之國家資訊，請參閱附註(十三)之附表五。

(1) 家庭雲端股份有限公司114年11月18日現金增資1,500仟股，每股10元，本集團未參與認購，持股比由39.71%下降至33.13%。

(2) 家庭雲端股份有限公司截至115年6月30日及114年6月30日累計認列減損損失金額均為10,163仟元，相關說明請參閱114年度合併財務報告附註(六)之9說明。

(3) 本集團115年及114年第二季對家庭雲端股份有限公司投資損益及其他綜合損益份額之認列，係按未經會計師核閱之財務報告計算。

(4) Sino Digit Technology Limited由於產品開發時間長且無法掌握時效，投資效益未顯現，經本集團審慎評估結果，其投資價值確已減損，已於106年期末對該公司投資帳面金額認列至0為止，累計認列減損金額為16,789仟元。

(5) 截至115年6月30日Sino Digit Technology Limited已無實際營運，且本集團已對該公司認列投資帳面金額至0仟元，本集團管理階層評估上述被投資公司財務報告未經會計師查核，尚不致產生重大影響。

(6) 上述採用權益法之投資均未有提供做質押擔保之情形。

10. 不動產、廠房及設備

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
土　　地	$ 340,296	$ 340,296	$ 340,296
房屋及建築	464,845	456,127	453,927
機器設備	785,554	783,874	789,433
運輸設備	8,009	8,009	8,009
辦公設備	10,550	10,633	10,659
其他設備	125,844	113,802	110,646
待驗設備及未完工程	-	2,160	127,608
成本合計	1,735,098	1,714,901	1,840,578
減：累計折舊及減損	(1,080,932)	(1,060,948)	(1,048,788)
合　　計	$ 654,166	$ 653,953	$ 791,790

	土　地	房屋及建築	機器及設備	運輸設備	辦公設備	其他設備	待驗設備及未完工程	合　計
成　　本								
115.1.1 餘額	$340,296	$456,127	$783,874	$ 8,009	$10,633	$113,802	$ 2,160	$ 1,714,901
增添	-	2,771	1,120	-	-	-	372	4,263
處分	-	(520)	(120)	-	(83)	-	-	(723)
重分類	-	6,467	680	-	-	12,042	(2,532)	16,657
115.6.30 餘額	$340,296	$464,845	$785,554	$ 8,009	$10,550	$125,844	$ -	$ 1,735,098
累計折舊及減損								
115.1.1 餘額	$ -	$229,324	$754,282	$ 4,882	$10,562	$61,898	$ -	$ 1,060,948
折舊費用	-	6,786	9,791	169	50	3,538	-	20,334
處分	-	(217)	(50)	-	(83)	-	-	(350)
提列減損損失	-	-	-	-	-	-	-	-
115.6.30 餘額	$ -	$235,893	$764,023	$ 5,051	$10,529	$65,436	$ -	$ 1,080,932

	土　地	房屋及建築	機器設備	運輸設備	辦公設備	其他設備	待驗設備及未完工程	合　計
成　　本								
114.1.1 餘額	$340,296	$450,766	$811,419	$ 8,555	$10,659	$71,769	$115,094	$ 1,808,558
增添	-	1,766	-	-	-	-	53,123	54,889
處分	-	-	(21,986)	(546)	-	(337)	-	(22,869)
重分類	-	1,395	-	-	-	39,214	(40,609)	-
114.6.30 餘額	$340,296	$453,927	$789,433	$ 8,009	$10,659	$110,646	$127,608	$ 1,840,578
累計折舊及減損								
114.1.1 餘額	$ -	$217,197	$767,699	$ 5,000	$10,456	$57,833	$ -	$ 1,058,185
折舊費用	-	6,069	5,276	169	78	1,789	-	13,381
處分	-	-	(21,986)	(455)	-	(337)	-	(22,778)
114.6.30 餘額	$ -	$223,266	$750,989	$ 4,714	$10,534	$59,285	$ -	$ 1,048,788

A. 本集團113年7月1日經董事會決議通過與是方電訊股份有限公司簽訂機房機櫃空間租用服務契約，機房設備建置合約總價127,346仟元，工程追加款2,857仟元，共計支付130,203仟元。因本集團無法達成原合約合作之設備及系統，致該機房設備建置仍列未完工程，經雙方多次協商，並簽訂和解協議，且經董事會決議通過本集團與是方電訊股份

有限公司中止機房租用契約，另將已建置之全部機房水冷設施出租予是方電訊股份有限公司，本集團以融資租賃出租設施資產之協議，請詳附註(六)之14。

B. 115年及114年1至6月不動產、廠房及設備利息資本化金額均為0仟元，請詳附註(六)之30。

C. 因本集團子公司-勁耘新中廠將逐步轉為倉儲中心，原新中廠之研磨機等機器設備之未來經濟效益減少，致其可回收金額小於帳面金額，故於114年度認列減損損失4,305仟元。截至115年6月30日累計認列減損金額為4,305仟元。

D. 以自用之不動產、廠房及設備提供擔保之資訊，請參閱附註(八)之說明。

11. 租賃協議

(1) 使用權資產

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
房屋及建築	$ 27,114	$ 27,114	$ 32,522
運輸設備	7,362	7,362	7,701
其他	619	619	619
小計	35,095	35,095	40,842
減: 累計折舊及減損	(22,124)	(16,433)	(18,572)
合　　計	$ 12,971	$ 18,662	$ 22,270

成　　本	房屋及建築	運輸設備	其　他	合　計
115.1.1 餘額	$ 27,114	$ 7,362	$ 619	$ 35,095
115.6.30 餘額	$ 27,114	$ 7,362	$ 619	$ 35,095
累計折舊及減損				
115.1.1 餘額	$ 12,705	$ 3,480	$ 248	$ 16,433
折舊費用	4,317	1,312	62	5,691
本期減少	-	-	-	-
115.6.30 餘額	$ 17,022	$ 4,792	$ 310	$ 22,124

成　　本	房屋及建築	運輸設備	其　他	合　計
114.1.1 餘額	$ 23,971	$ 6,750	$ 619	$ 31,340
本期增加	8,551	951	-	9,502
114.6.30 餘額	$ 32,522	$ 7,701	$ 619	$ 40,842
累計折舊及減損				
114.1.1 餘額	$ 10,693	$ 1,560	$ 124	$ 12,377
折舊費用	4,843	1,290	62	6,195
114.6.30 餘額	$ 15,536	$ 2,850	$ 186	$ 18,572

本集團113年7月1日經董事會決議通過與是方電訊股份有限公司簽訂機房機櫃空間租用服務契約，依合約約定以服務啟用日開始計費；由於未能達成原合約合作內容，經協商雙方簽訂和解協議，且經董事會決議通過與是方電訊股份有限公司中止機房租用，另將已建置之全部機房水冷設施出租於是方電訊股份有限公司，本集團以融資租賃出租設施資產之協議，請詳附註(六)之14。

(2) 租賃負債

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
租賃負債帳面金額			
流　　動	$ 5,802	$ 10,019	$ 13,626
非 流 動	$ 7,301	$ 8,912	$ 8,925

租賃負債之折現率區間如下:

	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
房屋及建築	2.40%~2.87%	2.40%~2.87%	2.40%~2.87%
運輸設備	2.05%~2.87%	2.05%~2.87%	2.87%
其他	5.06%	5.06%	5.06%

有關租賃負債之到期分析，請參閱附註(十二)之說明。

(3) 轉租

本集團以營業租賃轉租台北辦公室之使用權，租賃期間為1年，114年6月30日到期未再續約。115年及114年4至6月及1至6月來自該使用權資產轉租之收益分別為0仟元、484仟元及0仟元、1,127仟元。該營業租賃轉租之未來收取之租賃給付總額如下:

	115年6月30日	114年6月30日
第一年	$ -	$ -

(4) 重要承租活動及條款

A. 本集團承租房屋及建築作為辦公處所、門市及倉庫，租賃期間通常為2至4年，部份租賃包含在租賃期間屆滿時得延長與原合約相同期間之選擇權。

B. 本集團承租運輸設備作為公務車使用及承租保全監視設備，租賃期間通常為2至3年。

(5) 其他租賃資訊

A. 本集團115及114年6月30日選擇對符合短期租賃及符合低價值資產租賃適用認列之豁免，不對該等租賃認列相關使用權資產及租賃負債。

B. 本集團以融資租賃出租自有不動產、廠房及設備之協議請分別參閱附註(六)之14。

C. 本集團115年及114年4至6月與1至6月租賃相關費用資訊如下：

	115年4至6月	114年4至6月
短期及低價值資產租賃費用	$ 1,271	$ 462
不計入租賃負債衡量中之變動租賃給付費用	$ -	$ -
租賃之現金流出總額(註)	$ 4,294	$ 4,042

	115年1至6月	114年1至6月
短期及低價值資產租賃費用	$ 2,543	$ 898
不計入租賃負債衡量中之變動租賃給付費用	$ -	$ -
租賃之現金流出總額(註)	$ 8,590	$ 7,375

註：係包括本期租賃負債本金及利息支付數。

12. 無形資產

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
專利權	$ 6,000	$ 6,000	$ 6,000
商標權	1,905	1,905	1,905
電腦軟體	3,608	3,261	3,051
商譽	662	690	690
小計	12,175	11,856	11,646
減：累計攤銷及減損	(10,378)	(10,029)	(9,614)
淨　額	$ 1,797	$ 1,827	$ 2,032

成　　本	專利權	商標權	電腦軟體	商譽	總計
115.1.1餘額	$ 6,000	$ 1,905	$ 3,261	$ 690	$ 11,856
增　　添	-	-	347	-	347
處　　分	-	-	-	(28)	(28)
115.6.30餘額	$ 6,000	$ 1,905	$ 3,608	$ 662	$ 12,175
累計攤銷及減損					
115.1.1餘額	$ 5,706	$ 574	$ 3,059	$ 690	$ 10,029
攤銷費用	38	138	201	-	377
處　　分	-	-	-	(28)	(28)
115.6.30餘額	$ 5,744	$ 712	$ 3,260	$ 662	$ 10,378

成　　本	專 利 權	商 標 權	電腦軟體	商 譽	總 計
114.1.1 餘額	$ 6,000	$ 1,905	$ 2,936	$ 690	$ 11,531
增　　添	-	-	115	-	115
處　　分	-	-	-	-	-
114.6.30 餘額	$ 6,000	$ 1,905	$ 3,051	$ 690	$ 11,646
累計攤銷及減損					
114.1.1 餘額	$ 5,545	$ 299	$ 2,606	$ 690	$ 9,140
攤銷費用	84	138	252	-	474
提列減損損失	-	-	-	-	-
114.6.30 餘額	$ 5,629	$ 437	$ 2,858	$ 690	$ 9,614

13. 長期應收票據及款項

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
催收款-應收帳款	$ 16,815	$ 16,815	$ 15,610
催收款-其他應收款	-	-	-
減：備抵損失	(16,815)	(16,815)	(15,610)
淨　額	$ -	$ -	$ -

(1) 本集團112年與關係人生活工場國際股份有限公司(以下簡稱「生活工場」)共同投標經營國軍服裝供售站委商經營標案(以下簡稱「空軍標案」)，該空軍標案之履約保證金依據共同投標比例負擔，其中由生活工場支付之40,000仟元，雙方約定由本集團代為墊付並簽署借貸契約，借款期限為5年，年利率為3%，生活工場將其子公司廣九物流股份有限公司全數股權3,000仟股及數博整合股份有限公司(負責人為生活工場策略長)不動產設定抵押予本集團作為擔保。

本集團於112年11月2日經董事會決議通過該資金貸與案。本集團已於113年11月6日收到國防部公文成為該標案之主標商，並於113年11月26日經董事會決議通過後續授權董事長依比例調整塗銷相關擔保品。本集團已於113年12月16日塗銷不動產設定抵押。依113年12月31日與生活工場之增補協議書將資金貸與全數轉列為本集團對空軍標案之履約保證金。關係人交易資訊請詳附註(七)。

(2) 本集團銷售智能感應燈予BELL & WYSON，因部分產品品質異常，致部份款項未能依約收回，評估對該公司積欠本公司債權採取法律行動；另已於106年度將其相關帳款15,610仟元轉列長期應收款項，並提列全額之備抵損失。

14. 應收融資租賃款(含流動及非流動)

	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
未折現之租賃給付			
第1年	$ 19,230	$ 6,210	$ -
第2年	26,041	26,041	-
第3年	26,041	26,041	-
第4年	26,041	26,041	-
第5年	4,430	17,450	-
	101,783	101,783	-
減：未賺得融資收益	(6,083)	(7,444)	-
減：備抵損失	-	-	-
應收租賃給付	95,700	94,339	-
未保證殘值	100	100	-
減：未賺得融資收益	(18)	(18)	-
未保證殘值現值	82	82	-
列報為應收融資租賃款之租賃投資淨額	$ 95,782	$ 94,421	$ -
應收融資租賃-流動	$ 16,676	$ 3,496	$ -
應收融資租賃-非流動	$ 79,106	$ 90,925	$ -

(1) 本集團對委託是方電訊股份有限公司建置之全部機房水冷設施簽定融資租賃協議，所有租約皆以新台幣計價。平均租期為5年，每年收取固定租賃給付為27,343仟元，本集團將該租賃分類為融資租賃。

(2) 租賃期間之租約隱含利率於合約日決定後不再變動，截至115年6月30日止，融資租賃隱含利率為年利率2.87%。

(3) 本集團按存續期間預期信用損失衡量應收融資租賃款之備抵損失。應收融資租賃款係以出租之設備作為擔保。截至資產負債表日止，並無逾期未收回之應收融資租賃款，且同時考量交易對手過去之違約紀錄、租賃標的相關產業之未來發展及擔保品價值，本集團認為上述應收融資租賃款並無減損。

(4) 本集團未有將應收融資租賃款設定作為借款擔保之情形。

15. 短期借款

借款性質	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
抵押借款	$ 312,500	$ 373,000	$ 336,920
信用借款	-	-	5,980
合計	$ 312,500	$ 373,000	$ 342,900
利率區間	2.67%~3.12%	2.67%~3.12%	2.67%~3.37%

對於短期借款，本集團提供部分銀行存款與不動產、廠房及設備作為借款之擔保，請參閱附註(八)說明。

16. 其他應付款

項目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
應付薪資及獎金	$ 17,203	$ 19,201	$ 14,345
應付利息	978	1,037	790
應付設備款	3,797	6,451	4,249
應付代採購款	-	-	105,536
其他	40,818	35,098	23,412
合計	$ 62,796	$ 61,787	$ 148,332

17. 負債準備－流動

項目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
員工福利	$ 1,614	$ 1,671	$ 1,667

員工福利負債準備係員工既得短期服務休假權利之估列。

項目	員工福利
115.1.1餘額	$ 1,671
當期新增之負債準備	(1,396)
當期使用之負債準備	1,339
115.6.30餘額	$ 1,614

項目	員工福利
114.1.1餘額	$ 1,273
當期新增之負債準備	1,667
當期使用之負債準備	(1,273)
114.6.30餘額	$ 1,667

18. 長期借款及一年內到期長期負債

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
擔保借款	$ 563,119	$ 454,500	$ 402,600
其他融資借款	56,779	77,479	33,748
減：一年內到期	(75,255)	(67,581)	(31,206)
合　　計	$ 544,643	$ 464,398	$ 405,142
利率區間	2.22%~7.44%	2.22%~7.44%	2.87%~5.26%

(1) 其他融資借款係本集團向日盛台駿國際租賃股份有限公司、新鑫股份有限公司、和潤興業股份有限公司及合迪股份有限公司之借款。

(2) 115年及114年6月30日長期借款之擔保品，請參閱附註(八)之說明。

19. 退休金

(1) 確定提撥計畫

A. 93年底本集團依勞基法規定辦理員工自請退休及自願退休及自願退職辦法。自94年7月1日起，本公司及中華民國境內子公司依據「勞工退休金條例」，訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本公司及中華民國境內子公司就員工選擇適用「勞工退休金條例」所定之勞工退休金制度部分，每月按薪資之6%提繳勞工退休金至勞工保險局員工個人帳戶；員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休金或一次退休金方式領取。

B. 本集團於115年及114年4至6月與115年及114年1至6月依照確定提撥計畫中明定比例應提撥之金額已於合併綜合損益表認列費用總額分別為2,039仟元及1,846仟元與4,279仟元及3,569仟元。

20. 股　　本

(1) 普通股股本

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
1 月 1 日	$ 651,956	$ 651,956
現金增資	60,000	-
6 月 30 日	$ 711,956	$ 651,956

(2) 普通股流通在外股數調節如下:(仟股)

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
1 月 1 日	$ 62,196	$ 62,196
現金增資	6,000	-
6 月 30 日	$ 68,196	$ 62,196

註：截至115年及114年6月30日止，子公司持有本公司之股份均為3,000仟股。

(3) 截至115年6月30日止，本公司額定資本額為4,000,000仟元，分為400,000仟股。

(4) 本公司為充實營運資金、擴大營運規模及改善財務結構，於112年11月17日經股東會決議通過辦理私募現金增資發行普通股不超過15,000仟股，並授權董事會一年內分一次或二次辦理私募，並於113年6月7日經董事會決議通過以每股私募價格22.26元發行普通股5,000仟股，每股面額10元，計50,000仟元，以113年6月21日為增資基準日，並於113年8月7日完成變更登記。

(5) 本公司為充實營運資金及改善財務結構，並掌握資金募集之時效性，於114年6月10日經股東會決議通過辦理私募現金增資發行普通股不超過13,000仟股，並授權董事會一年內分三次辦理私募。115年第一次私募現金增資於115年3月12日經董事會決議通過以每股私募價格20元發行普通股6,000仟股，每股面額10元，計60,000仟元，115年3月26日為增資基準日，並於115年4月17日完成變更登記。另考量剩餘期限內已無法繼續分次私募之計畫，其餘尚未辦理之私募普通股7,000仟股額度，將不再續行辦理。

(6) 本公司為改善財務結構，分別於99年至115年間，經股東會決議通過辦理私募現金增資發行普通股，並授權董事會辦理私募，經歷年增資及減資彌補虧損後，本公司截至115年6月30日，私募普通股計40,971仟股，自股票交付日起已滿3年之私募普通股合計29,971仟股。

(7) 私募普通股及其嗣後無償配發股份之轉讓須依證券交易法第43條之8規定辦理。並於私募普通股交付日起滿3年後，先取具證券交易所核發符合上市標準之同意函，始得向金融監督管理委員會補辦理公開發行。

(8) 本公司為充實營運資金及改善財務結構，並掌握資金募集之時效性，於115年6月8日經股東會決議通過辦理私募現金增資發行普通股不超過7,000仟股，並授權董事會一年內分二次辦理私募，上述私募增資發行新股票尚未辦理。

21. 資本公積

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
普通股票股票溢價	$ 60,000	$ 61,300	$ 61,300
庫藏股票交易	-	9,407	9,407
已失效認股權證	1,195	1,195	1,195
股東逾時效未領取之股利	416	416	416
採用權益法認列關聯企業股權淨值之變動數	5,010	5,010	-
合　　計	$ 66,621	$ 77,328	$ 72,318

(1) 依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，得按股東原有股份之比例發給新股或現金。另依證券交易法之相關規定，以上開資本公積撥充資本時，每年以其合計數不超過實收資本額百分之十為限。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。因採用權益法之投資所產生之資本公積，不得作為任何用途。

(2) 本公司於105年辦理現金增資，依公司法第二百六十七條規定保留發行新股總數百分之十五之股份由員工認購計3,000仟股，依給與日衡量所給與權益商品之公平價值，認列為薪資費用及資本公積－認股權為3,150仟元，並於認購後將資本公積－認股權轉列資本公積－發行溢價計1,955仟元，未行使部分視為逾期失效，轉列資本公積-已失效認股權計1,195仟元。

22. 保留盈餘及股利政策

(1) 依本公司章程之盈餘分派政策規定，本公司年度總決算如有本期稅後淨利，應先彌補累積虧損(包括調整未分配盈餘金額)，依法提撥百分之十為法定盈餘公積；但法定盈餘公積累積已達本公司實收資本總額時，不在此限。次依法令或主管機關規定提撥或迴轉特別盈餘公積。嗣餘盈餘，連同期初未分配盈餘(包括調整未分配盈餘金額)，由董事會擬具盈餘分配議案，提請股東會決議分派股東股息紅利。

本公司之股利政策採『平衡股利政策』，視資金狀況得在當年度分配股利，股票股利不高於50%，餘為現金股利。

(2) 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額百分之二十五之部分為限。

(3) 本公司分派盈餘時，依法令規定須就當年度資產負債表日之其他權益項目借方餘額提列特別盈餘公積始得分派，俟後其他權益項目借方餘額迴轉時，迴轉金額得列入可供分派盈餘中。

(4) 本公司於115年6月及114年6月經股東會決議之114年及113年度盈餘分配案及每股股利如下：

	盈餘分配案		每股股利(元)	
項　　目	114 年 度	113 年 度	114 年 度	113 年 度
法定盈餘公積	$ -	$ -		
普通股現金股利	-	-	$ -	$ -
合　　計	$ -	$ -		

(5) 有關本公司董事會提議及股東會決議盈餘分派情形，請至台灣證券交易所之「公開資訊觀測站」查詢。

(6) 本公司於115年6月8日經股東會決議因本公司累積虧損已達實收資本二分之一以上，故以法定盈餘公積433仟元及資本公積70,707仟元彌補虧損。

23. 其他權益

項　　目	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現評價(損)益
115.1.1 餘額	($ 52,604)
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價(損)益	(1,966)
115.6.30 餘額	($ 54,570)

項　　目	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產未實現評價(損)益
114.1.1 餘額	($ 54,249)
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價(損)益	(11,631)
114.6.30 餘額	($ 65,880)

24. 庫藏股票

本集團之子公司持有本公司股票明細如下：

持有公司	115 年 6 月 30 日			114 年 12 月 31 日			114 年 6 月 30 日		
	股數(仟股)	成本	市價	股數(仟股)	成本	市價	股數(仟股)	成本	市價
嵩達光電科技(股)公司	3,000	$62,100	$44,700	3,000	$62,100	$43,650	3,000	$62,100	$58,050

子公司持有之庫藏股票依證券交易法規定不得質押，於未轉讓前，不得享有股東權利。

25. 非控制權益

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
期初餘額	$ 239,942	$ 267,471
歸屬予非控制權益之份額：		
本年度淨利(損)	(21,486)	(12,036)
其他綜合損益	-	(3,885)
非控制權益增減	10,344	-
期末餘額	$ 228,800	$ 251,550

26. 營業收入

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
客戶合約之收入		
銷貨收入	$ 100,699	$ 88,759
勞務收入	18,292	31,736
其他營業收入	2,001	3,771
合　　計	$ 120,992	$ 124,266

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
客戶合約之收入		
銷貨收入	$ 252,735	$ 145,077
勞務收入	35,544	66,121
其他營業收入	3,397	7,651
合　　計	$ 291,676	$ 218,849

(1) 客戶合約收入之細分

本集團之收入可細分為下列主要產品線及地理地區：

主要商品	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
光學面板、彩色濾光片基板等加工及產銷	$ 63,452	$ 102,762
代採購收入(註)	-	17,285
國軍標案商品(註)	55,088	-
其　　他	2,452	4,219
合　　計	$ 120,992	$ 124,266

主要商品	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
光學面板、彩色濾光片基板等加工及產銷	$ 122,020	$ 168,914
代採購收入(註)	-	40,987
國軍標案商品(註)	165,393	-
其　　他	4,263	8,948
合　　計	$ 291,676	$ 218,849

主要地區市場	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
台　　灣	$ 106,403	$ 68,523
中　　國	165	37,902
美　　國	10,664	10,263
義 大 利	2,854	1,391
其　　他	906	6,187
合　　計	$ 120,992	$ 124,266

主要地區市場	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
台　　灣	$ 267,180	$ 135,433
中　　國	781	53,739
美　　國	18,041	16,255
義 大 利	3,000	3,581
其　　他	2,674	9,841
合　　計	$ 291,676	$ 218,849

(2) 合約餘額

本集團認列客戶合約收入相關之應收款、合約資產及合約負債如下：

項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日	114 年 1 月 1 日
應收票據、帳款	$ 199,877	$ 55,667	$ 56,748	$ 73,007
合約負債－流動				
商品銷貨	$ 1,776	$ 3,293	$ 4,217	$ 3,480

A. 合約資產及合約負債之重大變動：

合約資產及合約負債之變動主要係來自滿足履約義務之時點及與客戶付款時點之差異。

B. 期初合約負債本期認列收入：

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
合約負債期初餘額本期認列收入		
商品銷貨	$ 2,197	$ 1,233

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
合約負債期初餘額本期認列收入		
商品銷貨	$ 3,165	$ 2,668

C. 前期已滿足履約義務本期認列收入：無。

D. 尚未履行之客戶合約

本集團截至115年6月30日止尚未履行之商品銷售客戶合約，預期存續期間未超過一年，預計將於未來一年內履行並認列為收入。

27. 利息收入

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
銀行存款利息	$ 416	$ 461
其他利息收入	690	4
合　　計	$ 1,106	$ 465

項　　目	115年1至6月	114年1至6月
銀行存款利息	$ 513	$ 536
其他利息收入	1,371	4
合　　計	$ 1,884	$ 540

28. 其他收入

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
租金收入	$ 914	$ 1,769
其　　他	4,037	453
合　　計	$ 4,951	$ 2,222

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
租金收入	$ 1,828	$ 3,703
股利收入	83	-
其　　他	4,280	465
合　　計	$ 6,191	$ 4,168

29. 其他利益及損失

項　　目	115年4至6月	114年4至6月
淨外幣兌換損失	($ 87)	($ 5,124)
處分不動產、廠房及設備損失	(303)	-
其　　他	(3,129)	-
合　　計	($ 3,519)	($ 5,124)

項　　目	115年1至6月	114年1至6月
淨外幣兌換利益(損失)	$ 198	($ 4,783)
處分不動產、廠房及設備利益(損失)	(292)	9
其　　他	(3,129)	-
合　　計	($ 3,223)	($ 4,774)

30. 財務成本

項　　目	115年4至6月	114年4至6月
利息費用:		
銀行借款	$ 7,353	$ 5,785
租賃負債之利息	100	138
銀行手續費	287	532
減：符合要件之資本化金額	-	-
財務成本	$ 7,740	$ 6,455

項　　目	115年1至6月	114年1至6月
利息費用:		
銀行借款	$ 14,431	$ 11,139
租賃負債之利息	219	248
銀行手續費	1,102	1,782
減：符合要件之資本化金額	-	-
財務成本	$ 15,752	$ 13,169

31. 員工福利、折舊及攤銷費用

	115 年 4 至 6 月		
性　質　別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合　　計
員工福利費用			
薪資費用	$ 20,933	$ 22,179	$ 43,112
勞健保費用	2,828	2,820	5,648
退休金費用	867	1,172	2,039
其他員工福利費用	292	1,669	1,961
折舊費用	8,741	4,310	13,051
攤銷費用	38	185	223
合　　計	$ 33,699	$ 32,335	$ 66,034

	114 年 4 至 6 月		
性　質　別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合　　計
員工福利費用			
薪資費用	$ 17,317	$ 17,628	$ 34,945
勞健保費用	2,258	1,726	3,984
退休金費用	928	918	1,846
其他員工福利費用	872	1,496	2,368
折舊費用	6,085	4,042	10,127
攤銷費用	61	249	310
合　　計	$ 27,521	$ 26,059	$ 53,580

	115 年 1 至 6 月		
性　質　別	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合　　計
員工福利費用			
薪資費用	$ 38,396	$ 46,954	$ 85,350
勞健保費用	5,177	5,540	10,717
退休金費用	1,783	2,496	4,279
其他員工福利費用	1,102	3,771	4,873
折舊費用	17,502	8,523	26,025
攤銷費用	76	369	445
合　　計	$ 64,036	$ 67,653	$ 131,689

性　質　別	114 年 1 至 6 月		
	屬於營業成本者	屬於營業費用者	合　　計
員工福利費用			
薪資費用	$ 34,226	$ 33,606	$ 67,832
勞健保費用	4,622	3,296	7,918
退休金費用	1,847	1,722	3,569
其他員工福利費用	1,853	2,856	4,709
折舊費用	12,253	7,323	19,576
攤銷費用	122	544	666
合　　計	$ 54,923	$ 49,347	$ 104,270

(1) 本公司係以當年度扣除分派員工及董事酬勞前之稅前利益分別以不低於3%及不高於3%提撥員工酬勞及董事酬勞。115年及114年4至6月與115年及114年1至6月估列員工酬勞及董事酬勞均為0仟元，係分別按前述稅前利益之不低於3%估列員工酬勞及不高於3%估列董事酬勞。年度財務報告通過發布日後若金額仍有變動，則依會計估計變動處理，於次一年度調整入帳。

(2) 本公司於115年3月12日及114年3月26日董事會分別決議通過114年及113年度員工酬勞及董事酬勞，以及財務報告認列之金額均為0仟元。

(3) 本公司董事會通過決議之員工及董事酬勞資訊，請至台灣證券交易所「公開資訊觀測站」查詢。

32. 所得稅

(1) 所得稅費用組成部分：

項　　目	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
當期所得稅		
以前年度所得稅高低估	$ -	($ 16)
暫時性差異之原始產生及迴轉	-	-
所得稅費用(利益)	$ -	($ 16)

項　　目	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
當期所得稅		
以前年度所得稅高低估	$ -	($ 16)
暫時性差異之原始產生及迴轉	-	-
所得稅費用(利益)	$ -	($ 16)

(2) 與其他綜合損益相關之所得稅金額：無。

(3) 本集團適用中華民國所得稅法之個體所適用之稅率為20%，另自107年度起未分配盈餘所適用之稅率為5%。

(4) 本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至113年度。

33. 其他綜合損益

項　　目	115 年 4 至 6 月		
	稅前	所得稅(費用)利益	稅後淨額
不重分類至損益之項目：			
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	($ 1,554)	$ -	($ 1,554)
認列於其他綜合損益	($ 1,554)	$ -	($ 1,554)

項　　目	114 年 4 至 6 月		
	稅前	所得稅(費用)利益	稅後淨額
不重分類至損益之項目：			
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	($ 13,308)	$ -	($ 13,308)
認列於其他綜合損益	($ 13,308)	$ -	($ 13,308)

項　　目	115 年 1 至 6 月		
	稅前	所得稅(費用)利益	稅後淨額
不重分類至損益之項目：			
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	($ 1,966)	$ -	($ 1,966)
認列於其他綜合損益	($ 1,966)	$ -	($ 1,966)

項　　目	114 年 1 至 6 月		
	稅前	所得稅(費用)利益	稅後淨額
不重分類至損益之項目：			
透過其他綜合損益按公允價值衡量之權益工具投資未實現評價損益	($ 15,516)	$ -	($ 15,516)
認列於其他綜合損益	($ 15,516)	$ -	($ 15,516)

34. 普通股每股盈餘(虧損)

(1) 基本每股盈餘(虧損)

	115 年 4 至 6 月	114 年 4 至 6 月
A.基本每股盈餘(虧損)：		
歸屬於母公司普通股權益持有人之淨利(損)	($ 41,074)	($ 20,670)
本期流通在外加權平均股數(仟股)	65,429	62,196
基本每股盈餘(虧損)(稅後)(元)	($ 0.62)	($ 0.33)

	115 年 1 至 6 月	114 年 1 至 6 月
A.基本每股盈餘(虧損)：		
歸屬於母公司普通股權益持有人之淨利(損)	($ 61,376)	($ 34,926)
本期流通在外加權平均股數(仟股)	65,429	62,196
基本每股盈餘(虧損)(稅後)(元)	($ 0.94)	($ 0.56)

(2) 本集團115年及114年1至6月因產生稅後虧損，故計算稀釋每股盈餘潛在項目時，將產生反稀釋作用，故不予列入。

35. 來自籌資活動之負債之調節

(1) 115年6月30日

	115年1月1日	現金流量	非現金之變動 取得子公司之變動	喪失對子公司之控制之變動	匯率變動	公允價值變動	其他非現金之變動	115年6月30日
短期借款	$ 373,000	($ 60,500)	$ -	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 312,500
租賃負債	18,931	(5,828)	-	-	-	-	-	13,103
長期借款(含一年內到期)	531,979	87,919	-	-	-	-	-	619,898
	$ 923,910	$ 21,591	$ -	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 945,501

(2) 114年6月30日

	114年1月1日	現金流量	非現金之變動 取得子公司之變動	喪失對子公司之控制之變動	匯率變動	公允價值變動	其他非現金之變動	114年6月30日
短期借款	$ 243,000	$ 99,900	$ -	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 342,900
租賃負債	19,279	(6,229)	-	-	-	-	9,501	22,551
長期借款(含一年內到期)	393,400	42,948	-	-	-	-	-	436,348
	$ 655,679	$136,619	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 9,501	$ 801,799

(七)關係人交易

1. 母公司與最終控制者：

本公司為本集團之最終控制者。

2. 關係人名稱及關係

關係人名稱	與合併公司之關係
家庭雲端股份有限公司	關聯企業(註2)
銘旺科技股份有限公司	其他關係人(註4)
喜購股份有限公司	其他關係人
旺捷智能感知股份有限公司	其他關係人
衡昱電商股份有限公司	其他關係人(註3)
生活工場國際股份有限公司	其他關係人(註1)
廣九物流股份有限公司	其他關係人(註1)
數博整合股份有限公司	其他關係人(註1)
陳志士	主要管理階層

註1：本集團於112年10月19日與生活工場國際股份有限公司及廣九物流股份有限公司共同投標經營國軍服裝供售站委商經營標案，並由本集團向數博整合股份有限公司代採購相關物品，該合作標案對合併公司未來業務影響重大，故自該日起列為本集團之關係人。

另本集團於113年11月經國防部核准正式變更為國軍服裝供售站之主要代表廠商，且於114年11月前完成自廣九物流移出全部庫存，並由本集團全

面承接物流、系統、門市及金流作業，故自115年1月1日起本集團已正式獨立執行本標案，生活工場國際股份有限公司、廣九物流股份有限公司及數博整合股份有限公司對本集團未來業務影響力已不重大，故自115年1月1日起非為本集團之關係人。

註2：本集團於112年6月26日股東會決議通過改選董事，本集團之法人董事代表人為該公司之董事長，故自該日起列為本集團之關係人。另113年5月30日辭任本集團之法人董事代表人。另本集團於113年6月參與該公司現金增資取得股權，目前持股33.13%

註3：本集團為該公司持股超過10%之股東。

註4：銘旺科技股份有限公司原列為關係人之原因消失，自115年1月1日起已非本公司關係人。

3. 與關係人間之重大交易事項

本集團及子公司(係本公司之關係人)間之餘額及交易，於編製合併財務報告時已予以銷除，並未揭露，本集團與其他關係人間之交易明細揭露如下：

(1) 銷貨

帳列項目	關係人類別/名稱	115年4至6月	114年4至6月
銷貨收入	其他關係人	$ -	$ 1,041

帳列項目	關係人類別/名稱	115年1至6月	114年1至6月
銷貨收入	其他關係人	$ 14	$ 4,671

A. 銷貨價格係按一般銷售價格及議訂折扣為依據。

B. 收款條件：

(A) 一般客戶則為預收、現金或30～120天收款。

(B) 其他關係人為月結60天、現金或月結 30~90天。

(2) 進貨

帳列項目	關係人類別/名稱	115年4至6月	114年4至6月
進　貨	其他關係人	$ 39	$ -

帳列項目	關係人類別/名稱	115年1至6月	114年1至6月
進　貨	其他關係人	$ 50	$ -

A. 114年1月至6月向其他關係人進貨系為賺取勞務收入，本集團仍於出售時將其相關收入及成本沖銷，金額為925仟元沖銷以淨額表達，惟其應收款項及應付款項不符合除列條件，故仍以總額列示。

B. 進貨價格：係按一般進貨價格為依據。

C. 付款條件：

(A) 一般廠商則為預付或60～120天付款。

(B) 其他關係人為預付或月結 60天。

(3) 應收關係人款項

帳列項目	關係人類別/名稱	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
應收帳款	其他關係人			
	生活工場國際股份有限公司	$ -	$ -	$ 513
	銘旺科技股份有限公司	-	4,546	6,288
	其他	38	79	144
	減：備抵損失	(6)	(3,435)	(3,657)
	淨　　額	$ 32	$ 1,190	$ 3,288

上述應收關係人款項未收取保證。115年及114年1至6月對上述應收關係人款項認列之備抵損失(回升利益)分別為5仟元及(339)仟元。

帳列項目	關係人類別/名稱	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
其他應收款	其他關係人			
	生活工場國際股份有限公司	$ -	$ 1,811	$ 5,047
	旺捷智能感知股份有限公司	-	-	398
	喜購股份有限公司	-	-	3
	減：備抵損失	-	(1,811)	-
	淨　　額	$ -	$ -	$ 5,448

上述其他應收關係人款項未收取保證。115年114年1至6月對上述其他應收關係人款項認列之備抵損失(回升利益)皆為0仟元。

(4) 應付關係人款項

帳列項目	關係人類別/名稱	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
應付帳款	其他關係人	$ 29	$ -	$ -

註:帳列應付帳款科目項下

帳列項目	關係人類別/名稱	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
其他應付款	其他關係人			
	生活工場國際股份有限公司	$ -	$ -	$ 4,732
	廣九物流股份有限公司	-	4,337	6,247
	其他	-	22	48
	合　計	$ -	$ 4,359	$ 11,027

(5) 財產交易

本集團因國防部採購契約專案委由旺捷智能感知股份有限公司研發APP系統，該合約總價為6,667仟元，截至115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日分別帳列預付設備款0仟元、6,000仟元及6,000仟元。

(6) 背書保證

截至115年及114年6月30日，本集團除子公司為母公司提供借款背書保證外，無為他人提供背書保證情事。

(7) 租賃

A. 本集團與其他關係人，於115年與114年4至6月及1至6月因出租辦公室收取租金，租賃契約係依市場行情雙方議定計算租金，帳列其他收入分別為0仟元與484仟元及0仟元與1,127仟元。

B. 本集團與其他關係人及主要管理階層簽訂房屋租賃契約，租賃契約係依市場行情雙方議定計算租金，115年及114年4至6月與1至6月租金支出金額分別為0仟元與22仟元及0仟元與44仟元。

(8) 其他

A. 本集團於115年及114年4至6月及1至6月因國軍標售案支付其他關係人等之專案管理費等費用，帳列營業費用分別為0仟元與5,092仟元及0仟元與17,193仟元。

B. 本集團於112年10月19日與生活工場國際股份有限公司(下稱生活工場公司)及廣九物流股份有限公司(下稱廣九公司)共同投標經營國軍服裝供售站委商經營案，並與共同投標商簽署三方合作協議書，依合約內容按約定比例分潤。本集團另於113年10月8日與共同投標商重新簽署三方合作協議書，更新約定分潤比例。已於113年11月6日變更完成共同投標協議書。

生活工場公司當時為國軍標案之代表廠商，為讓國軍標案順利進行，遂找衡昱電商股份有限公司(下稱衡昱公司)、廣九物流公司與本公司於112年12月18日四家公司簽立「四方協議書」。生活工場公司並於前開協議書中與衡昱公司協議，於112年10月22日將10,000仟元撥入生活工場公司指定之裝修公司帳戶，依合約四方同意如有發生借款時，借款人應自本金動支日起，按年利率10%計算利息。生活工場公司應自113年6月1日起至117年12月30日（共55期），按月支付本金及利息予衡昱公司。生活工場公司、衡昱公司與本公司三方同意其於國軍軍服案如有獲利，另行書面協商分配比例。衡昱公司指稱本公司應連帶清償前開生活工場公司之借款債務，惟本集團未曾明示就前開借款債務負連帶清償責任。前述合作協議書之權利義務爭議業已進入司法訴訟程序。本案第一審法院已於民國115年7月31日判決，判決結果對本公司不利，本公司將偕同委任律師研析判決內容，並依法採取適當救濟程序。本案最終結果及可能財務影響仍具不確定性，本公司將視後續法律程序之發展持續評估。

C. 本集團因廣九物流股份有限公司(下稱廣九公司)違反合約未提供倉儲及配送服務，本集團並以書面終止原合約，並限期催告廣九公司應返還本公司之貨物，然廣九公司拒絕配合返還本公司之貨物，本集團為

避免廣九公司私自移轉占有，為保全公司資產，因此提供新台幣47,607仟元(待收回商品之30%)之擔保金聲請定暫時狀態之處分，並於114年8月19日獲得臺灣臺北地方法院114年全字第471號核准，本集團後續依法執行取回前開放置於廣九公司之國軍標案商品，惟僅取回部分商品，本集團業已提起訴訟，請求廣九公司全數返還，現繫屬於臺灣臺北地方法院以114年度重訴字第1343號審理中:本公司亦對相關人員提起刑事告訴。

4. 主要管理階層薪酬資訊

項　　目	115年4至6月	114年4至6月
薪資及其他短期員工福利	$ 2,713	$ 3,147

項　　目	115年1至6月	114年1至6月
薪資及其他短期員工福利	$ 5,377	$ 6,368

(八)質押之資產

下列資產已提供為各項借款及履約保證之擔保品：

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
其他金融資產-流動	$ 15,500	$ 30,500	$ 30,500
不動產、廠房及設備	416,114	412,468	427,455
存貨及應收代付款	56,779	77,479	33,748
合　　計	$ 488,393	$ 520,447	$ 491,703

(九)重大或有負債及未認列之合約承諾

1. 重大未認列之合約承諾：

(1) 本集團於113年7月1日經董事會決議通過與是方電訊股份有限公司簽訂機房機櫃空間租用服務契約，依雙方約定最小租用期間為五年，提供機房機架空間、相關必要設施及安全管理等服務，供本集團放置營運用電腦網路通訊等設備。雙方約定本集團於收到進駐通知之日起二週內交付代管設備清單並進駐機房，共同派員進行連接測試，並以連接完妥日為本服務之啟用日，以該服務啟用日起開始計費。

惟雙方對於租約執行結果存在爭議，經多次協商，並簽訂和解協議書，且經董事會決議通過提前中止機房租用契約，並就全部已建置之設施資產出租予是方電訊股份有限公司，租期自114年9月1日至119年8月31日止，共計5年，以融資租賃出租設施資產處理。有關機房設備建置款，本集團未認列之合約承諾如下：

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
取得使用權資產	$ -	$ -	$ 1,334,546

(2) 本集團於113年9月19日經董事會決議通過與無敵科技股份有限公司簽訂AI智能運算中心設備採購合約。本集團未認列之取得不動產、廠房及設備之合約承諾如下:

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
取得不動產、廠房及設備(美金千元)	USD 20,770	USD 20,770	USD 20,770

(3) 本集團於113年因國防部採購契約專案委由旺捷智能感知股份有限公司研發APP系統。本集團未認列之取得無形資產之合約承諾如下：

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
取得無形資產	$ -	$ 667	$ 667

(4) 本集團作為銀行借款及銀行保證而開立本票如下：

項　　目	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
本票	$ 901,080	$ 824,900	$ 734,900

(5) 本集團於112年10月19日與生活工場國際股份有限公司及廣九物流股份有限公司共同投標經營國軍服裝供售站委商經營案,並與共同投標商簽署三方合作協議書，請詳附註(七)之說明。

(6) 生活工場國際股份有限公司當時為國軍標案之代表廠商，為讓國軍標案順利進行，遂找衡昱電商股份有限公司、廣九物流股份有限公司與本公司於112年12月18日四家公司簽立「四方協議書」。前述合作協議書之權利義務爭議，請詳附註(七).3.(8)之說明。

(7) 截至115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日止，本集團為租賃履約保證、確保貨款債權等而收受之保證票據分別為700仟元、700仟元及1,049仟元，帳列存入保證票據及應收保證票據科目。

2. 重大訴訟案件：

(1) 財團法人證券投資及期貨交易人保護中心對本公司於104、105年間涉與台灣堂華股份有限公司(以下簡稱台灣堂華公司)不實銷貨交易，對本公司、負責人及董監事等相關人員提請民事賠償訴訟。此案本公司於111年5月31日一審敗訴，本公司於111年6月28日提請上訴，惟仍依法院一審判決所定估列此未決訴訟案損失1,500仟元，本案已於112年7月25日與投保中心於臺灣高等法院成立調解結案，前負責人代本公司支付此案全數賠償款，已於112年8月21日轉回估列之訴訟案損失1,500仟元，帳列其他利益及損失科目項下。

(2) 桃園地方法院檢察署於107年7月27日指揮桃園市調查處至本公司進行搜索，本案係針對本公司104年至105年間，前負責人等疑似違反證券交易法乙案進行偵查，並於108年9月16日接到起訴書，前項搜索行動對公司營運並無影響，本公司尊重司法並配合檢調之行動。本案一審判決於112年5月31日由桃園地方法院判決前負責人等處有期徒刑；二審判決於113年4月25日由臺灣高等法院刑事庭判決前負責人邱連春處有期徒刑貳年,緩刑伍年；前財務長李鳳秋處有期徒刑壹年捌月，緩刑肆年，此等判決對本公司財務業務無重大影響。

(3) 本公司104年與台灣堂華股份有限公司合作水銀路燈落日計劃，因工程驗收延誤，致部份款項未能依約收回，106年度將其相關帳款61,629仟元及應收利息2,346仟元轉列長期應收款項並提列全額之備抵損失。雖與該公司簽訂清償協議書但仍對該公司積欠本公司債權採取法律行動。本公司為維護公司權益，已於108年12月5日股東臨時會決議解任前負責人董事之職,並委請律師對堂華公司呆帳損失案及BW公司投資及呆帳損失案向前負責人提起民事賠償訴訟，且向法院提存500萬元做為聲請向前負責人財產假扣押之擔保，於109年4月13日獲准。

堂華公司呆帳損失案已於113年1月31日經董事會通過與前負責人等和解，前負責人給付現金1,000仟元及其持有之勁耘科技股份有限股票759仟股，帳列其他收入16,942仟元。因雙方已達成和解，故通知委任律師撤回堂華案民事賠償訴訟、撤銷假扣押及取回擔保金等事宜，並於113年4月10日收悉臺灣桃園地方法院民事執行處通知本案已撤回。

(4) 本公司與生活工場國際股份有限公司(下稱生活工場公司)、廣九物流股份有限公司(下稱廣九公司)共同合作投標國軍服裝供售站委商營運,三方並於112年10月2日簽署國軍服裝供售站委商營運(空軍)合作協議書在案(下稱三方協議書)。按三方協議書約定所示，由本公司負責供應鏈決策，再由生活工場公司負責執行供應鏈運營,然生活工場公司未經本公司同意自行與供應商簽約,亦未依約以三方指定帳戶辦理將國軍標案收入之請款在先,反另於113年4月11日以本公司國軍標案有違約事由，向臺灣臺北地方法院對本公司提起民事訴訟,後因生活工場公司及廣九物流公司未繳納裁判費，於113年5月28日及同年6月7日遭臺灣臺北地方法院以裁定駁回；與此同時，為確保債權得以完整實現，本公司於113年5月14日分別向臺灣臺北地方法院及臺灣士林地方法院聲請假扣押，臺灣臺北地方法院於113年5月21日核發執行命令在案。本公司為停止上述紛擾，使國軍標案得以順利執行，協議三方於113年6月19日簽訂和解書，約定待國防部將款項匯入三方信託帳戶後本公司即撤回假扣押,惟生活工場公司卻於113年7月12日以本公司未履行和解書約定為由,向臺灣臺北地方法院對本公司提起給付違約金之民事訴訟，實則國防部遲至113年8月2日始撥付款項至三方信

託帳戶，和解條件於113年8月2日始成就，本公司於同日即依約向臺灣臺北地方法院及臺灣士林地方法院撤回假扣押，生活工場公司亦於同日至臺灣臺北地方法院撤回對本公司之起訴。

(5) 本公司因廣九物流股份有限公司(下稱廣九公司)違反合約未提供倉儲及配送服務，本公司並以書面終止原合約，並限期催告廣九公司應返還本公司之貨物，然廣九公司拒絕配合返還本公司之貨物，本公司為避免廣九公司私自移轉占有，為保全公司資產，因此提供新台幣47,607仟元(待收回商品之30%)之擔保金聲請定暫時狀態之處分，並於114年8月19日獲得臺灣臺北地方法院114年全字第471號核准，本公司後續依法執行取回前開置放於廣九公司之國軍標案商品，惟僅取回部分商品，本公司業已提起訴訟，請求廣九公司全數返還，現繫屬於臺灣臺北地方法院以114年度重訴字第1343號審理中；本公司亦對相關人員提起刑事告訴。

(6) 本公司之子公司嵩達光電科技股份有限公司(下稱嵩達公司)與深圳市大川光電設備有限公司(下稱大川公司)購買光電設備，涉有買賣契約糾紛，本案於113年3月8日由大川公司對嵩達公司向廣東省深圳前海合作區人民法院提起民事訴訟，法院於113年3月21日判決嵩達公司應給付大川公司人民幣710仟元及其違約金在案。惟按臺灣地區與大陸地區人民關係條例第74條規定，大陸地區作成之民事判決應先向臺灣法院聲請裁定認可，於認可後始得為執行名義；縱於認可後得為執行名義，該判決亦僅具有執行力而無與臺灣法院確定判決同一效力之既判力，應非屬確定債務，故該判決對本公司營運並無重大影響。

本集團依據案件性質、可能損失金額及是否具重大性、案件的進度及專業顧問的意見將於每一財務報告期間評估認列費用之合理性，並以本集團認為合適之方式做必要調整，但最終金額仍須待相關案件終結後才能確定。本集團欲積極辯護前述尚未和解或仍進行中各項訴訟案件，惟因法律案件無法預測之本質，目前無法準確估算可能之損失(若有)，本集團不能排除無法在所有相關案件勝訴或是和解之可能，相關案件之罰緩、判決金額或和解對本集團之業務、營運或前景可能有重大不利影響。

(十)重大之災害損失:無。

(十一)重大之期後事項

本公司之子公司-勁耘科技股份有限公司為活化資產、降低閒置成本、充實營運資金、改善財務結構並配合集團轉型規劃，於115年7月6日董事會決議公開標售台南廠房土地及建物。本集團已委請二家不動產鑑價機構鑑價，標售底價暫訂為新台幣820,000仟元，預估處分利益約新臺幣476,508仟元，此案已於115年7月27日勁耘科技股份有限公司股東臨時會決議通過，相關之公開標售程序正在進行中。

(十二)其　他

1. 本公司於112年10月19日與生活工場國際股份有限公司(下稱生活工場公司)及廣九物流股份有限公司(下稱廣九公司)共同投標經營國軍服裝供售站委商經營案，三方並簽屬合作協議，該標案主要代表廠商為生活工場公司，屬投標協議本案收入應全數匯入三方共同開立之信託帳戶，然生活工場未經本公司同意，擅自變更請款帳戶，後經本公司向法院聲請假扣押之保全程序，三方於113年6月達成和解，將請款帳戶變更為三方於陽信銀行開立之信託帳戶，本公司並於113年11月取得代表廠商資格且完成國防部國軍服裝供售站委商經營(空軍)契約修訂書(國防部國採驗結字第1130304265號)，原第1成員廠商生活工場公司主要運營業務佔契約金額比率60%，本公司為第2成員廠商負責供應鏈管理，電商營運協理佔契約金額比率30%，修訂後本公司為第1成員廠商主要運營業務、供應鏈管理站契約金額比例80%，生活工場公司負責營運協理佔契約金額10%，嗣於114年2月經國防部同意將款項匯入本公司名下帳戶，然114年7月23日生活工場公司片面中止供售站服務，本公司積極安排投入實體門市運營除接收原生活工場公司之據點外，亦優先向國軍福利站洽租據點，以強化服務覆蓋密度並提升供應穩定性，並積極自行籌組倉儲物流能力且向廣九公司取回國軍標案商品，114年底前項工作已建置完成，故自115年1月1日起本公司已正式獨立執行本標案，原國軍標案之商品交易原採代理人之勞務收入運營方式調整為主理人買賣商品之交易模式。
2. 本集團於113年7月1日經董事會決議通過與是方電訊股份有限公司簽訂機房機櫃空間租用服務契約，依雙方約定最小租用期間為五年，提供機房機架空間、相關必要設施及安全管理等服務，供本集團放置營運用電腦網路通訊等設備。雙方約定本集團於收到進駐通知之日起二週內交付代管設備清單並進駐機房，共同派員進行連接測試，並以連接完妥日為本服務之啟用日，以該服務啟用日起開始計費。

   惟雙方對於租約執行結果存在爭議，經多次協商，並簽訂和解協議書，且經董事會決議通過提前中止機房租用契約，並就全部已建置之設施資產出租予是方電訊股份有限公司，租期自114年9月1日至119年8月31日止，共計5年。

   本集團114年度依合約規定支付租賃解約金54,432仟元，帳列其他利益及損失科目項下。另本集團以融資租賃出租設施資產協議，請參附註(六)之14之說明。
3. 期中營運之季節性或週期性之解釋

   本集團之營運不受季節性或週期性因素影響。
4. 資本風險管理

   本集團資本風險管理之方式與114年度合併財務報告所述者，並無重大變動，相關說明請參閱114年度合併財務報告附註(十二)之2。

5. 金融工具

(1) 金融工具之財務風險

A. 財務風險管理政策

本集團日常營運受多項財務風險之影響，包含市場風險（包括匯率風險、利率風險及價格風險）、信用風險及流動性風險。為降低相關財務風險，本集團致力於辨認、評估並規避市場之不確定性，以降低市場變動對公司財務績效之潛在不利影響。

本集團之重要財務活動，係經董事會及審計委員會依相關規範及內部控制制度進行覆核。於財務計劃執行期間，本集團必須恪遵關於整體財務風險管理及權責劃分之相關財務操作程序。

B. 重大財務風險之性質及程度

(A) 市場風險

a. 匯率風險

(a) 重大財務風險之性質及程度，與114年度合併財務報告所述者，並無重大變動，相關說明請參閱114年度合併財務報告附註(十二)之3。

(b) 匯率暴險及敏感度分析(係包括集團間交易在合併財務報告中已沖銷之項目及金額)

			115 年 6 月 30 日			
			帳列金額	敏感度分析		
	外　幣	匯　率	(新台幣)	變動幅度	損益影響	權益影響
(外幣: 功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$ 635	31.8	$ 20,208	1%	$ 162	$ -
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	850	31.8	27,040	1%	216	-

			114 年 12 月 31 日			
			帳列金額	敏感度分析		
	外　幣	匯　率	(新台幣)	變動幅度	損益影響	權益影響
(外幣: 功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$1,053	31.38	$ 33,056	1%	$ 264	$ -
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	241	31.38	7,547	1%	60	-
人民幣：新台幣	710	4.471	3,174	1%	25	-

			114 年 6 月 30 日			
			帳列金額	敏感度分析		
	外　幣	匯　率	(新台幣)	變動幅度	損益影響	權益影響
(外幣: 功能性貨幣)						
金融資產						
貨幣性項目						
美金：新台幣	$2,285	29.25	$ 66,845	1%	$ 535	$ -
金融負債						
貨幣性項目						
美金：新台幣	916	29.25	26,788	1%	214	-
人民幣：新台幣	710	4.07	2,887	1%	23	-

(c) 本集團貨幣性項目之匯率波動影響未實現兌換損益之情形，經評估並無重大影響。

b. 價格風險

由於本集團持有權益工具投資，因此本集團暴露於權益工具之價格風險。本集團之權益工具投資係分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產。

本集團主要投資於國內外未上市櫃之權益工具，此等權益工具之價格會因該投資標的未來價值之不確定性而受影響。

本集團選擇投資標的時皆經審慎評估，不致有重大市場風險。若權益工具價格上漲或下跌1%，115年及114年1至6月稅後其他綜合損益將因透過其他綜合損益按公允價值衡量金融資產之公允價值上升或下跌而增加(減少)795仟元及832仟元。

c. 利率風險

(a) 本集團於報導日受利率暴險之金融資產及金融負債帳面金額如下：

	帳面金額		
項　　目	115 年 6 月 30 日	114 年 12 月 31 日	114 年 6 月 30 日
具公允價值利率風險：			
金融資產	$ 15,500	$ 40,215	$ 43,685
金融負債	-	-	-
淨　　額	$ 15,500	$ 40,215	$ 43,685
具現金流量利率風險：			
金融資產	$ 91,180	$ 49,017	$ 93,683
金融負債	(932,398)	(904,979)	(779,248)
淨　　額	($ 841,218)	($ 855,962)	($ 685,565)

(b) 具公允價值利率風險工具之敏感度分析

本集團未將任何固定利率之金融資產及負債分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產，亦未指定衍生工具(利率交換)作為公允價值避險會計模式下之避險工具。因此，報導日利率之變動將不會影響損益及其他綜合損益。

(c) 具現金流量利率風險工具之敏感度分析

本公司固定收益特別股投資分類為透過損益按公允價值衡量之金融資產，因市場利率變動使特別股投資之公允價值隨之變動，市場利率每增加或減少1%，而其他所有因素維持不變之情況下，115及114年1至6月損益將分別減少或增加3,365仟元及2,742仟元。

(B) 信用風險

信用風險係指交易對方違反合約義務並對本集團造成財務損失之風險。本集團之信用風險，主要係來自於營運活動產生之應收款項，及投資活動產生之銀行存款及其他金融工具。營運相關信用風險與財務信用風險係分別管理。

a. 營運相關信用風險

為維持應收帳款的品質，本集團已建立營運相關信用風險管理之程序。

個別客戶的風險評估係考量包括該客戶之財務狀況、本集團內部信用評等、歷史交易記錄及目前經濟狀況等多項可能影響客戶付款能力之因素。

b. 財務信用風險

銀行存款及其他金融工具之信用風險，係由本集團財務部門衡量並監控。由於本集團之交易對象及履約他方均係信用良好之銀行及具投資等級及以上之金融機構、公司組織及政府機關，無重大之履約疑慮，故無重大之信用風險。

另本集團並無分類為按攤銷後成本及分類為透過其他綜合損益按公允價值衡量之債務工具投資。

(a) 信用集中風險

截至115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日，前三大客戶之應收帳款餘額占本集團應收帳款餘額之百分比分別為85%、57%及42%，其餘應收帳款之信用集中風險相對並不重大。

(b) 預期信用減損損失之衡量

I 應收帳款：係採簡化作法，請參閱附註(六)之3之說明。

II 信用風險是否顯著增加之判斷依據：無。

(c) 本集團持有之金融資產並未有任何擔保品或其他信用增強保障來規避金融資產之信用風險。

(C) 流動性風險

a. 流動性風險管理：

本集團管理流動性風險之目標，係為維持營運所需之現金及約當現金、高流動性之有價證券及足夠的銀行融資額度等，以確保本集團具有充足的財務彈性。

b. 金融負債到期分析：

下表係按到期日及未折現之到期金額彙總列示本集團已約定還款期間之金融負債分析：

	115 年 6 月 30 日						
非衍生金融負債	6 個月以內	6-12 個月	1-2 年	2-5 年	超過 5 年	合約現金流量	帳面金額
擔保借款	$ 65,112	$ 347,401	$ 74,934	$ 420,200	$ 106,491	$ 1,014,138	$ 932,398
應付票據及帳款(含關係人)	155,589	-	-	-	-	155,589	155,589
其他應付款(含關係人)	62,929	-	-	-	-	62,929	62,796
存入保證金	-	-	60	-	-	60	60
合　　計	$283,630	$347,401	$74,994	$420,200	$106,491	$1,232,716	$1,150,843

衍生金融負債：無。

租賃負債到期分析之進一步資訊如下：

	短於 1 年	1-5 年	5-10 年	10-15 年	15-20 年	20 年以上	未折現之租賃給付總額
租賃負債	$ 7,492	$ 6,034	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 13,526

	114 年 12 月 31 日						
非衍生金融負債	6 個月以內	6-12 個月	1-2 年	2-5 年	超過 5 年	合約現金流量	帳面金額
擔保借款	$ 327,957	$ 132,709	$ 81,821	$ 200,726	$ 228,662	$ 971,875	$ 904,979
應付帳款(含關係人)	238,514	-	-	-	-	238,514	238,514
其他應付款(含關係人)	66,146	-	-	-	-	66,146	66,146
存入保證金	-	60	-	-	-	60	60
合　　計	$632,617	$132,769	$81,821	$200,726	$228,662	$1,276,595	$1,209,699

衍生金融負債：無。

租賃負債到期分析之進一步資訊如下：

	短於 1 年	1-5 年	5-10 年	10-15 年	15-20 年	20 年以上	未折現之租賃給付總額
租賃負債	$ 11,090	$ 9,112	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 20,202

	114年6月30日						
非衍生金融負債	6個月以內	6-12個月	1-2年	2-5年	超過5年	合約現金流量	帳面金額
無擔保借款	$ 6,065	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 6,065	$ 5,980
擔保借款	65,933	322,482	44,272	170,784	238,936	842,407	773,268
應付帳款(含關係人)	37,931	-	-	-	-	37,931	37,931
其他應付款(含關係人)	159,359	-	-	-	-	159,359	159,359
存入保證金	-	61	51	-	-	112	112
合　　計	$269,288	$322,543	$44,323	$170,784	$238,936	$1,045,874	$ 976,650

衍生金融負債：無。

租賃負債到期分析之進一步資訊如下：

	短於1年	1-5年	5-10年	10-15年	15-20年	20年以上	未折現之租賃給付總額
租賃負債	$ 14,063	$ 9,143	$ -	$ -	$ -	$ -	$ 23,206

本集團並不預期到期日分析之現金流量發生時點會顯著提早，或實際金額會有顯著不同。

(2) 金融工具之種類

本集團115年6月30日、114年12月31日及114年6月30日各項金融資產及金融負債之帳面價值如下：

	115年6月30日	114年12月31日	114年6月30日
金融資產			
按攤銷後成本衡量之金融資產			
現金及約當現金	$ 91,565	$ 59,112	$ 107,191
應收票據及帳款(含關係人)	199,877	56,667	56,748
其他應收款(含關係人)	41,728	295,728	311,579
其他金融資產－流動	15,500	30,500	30,500
存出保證金	125,578	120,628	81,468
應收融資租賃款	95,782	94,421	-
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產－非流動	79,464	66,430	83,154
金融負債			
按攤銷後成本衡量之金融負債			
銀行借款	875,619	827,500	745,500
其他長期借款	56,779	77,479	33,748
應付票據及帳款(含關係人)	155,589	238,514	37,931
其他應付款(含關係人)	62,796	66,146	159,359
租賃負債	13,103	18,931	22,551
存入保證金	60	60	112

6. 公允價值資訊

(1) 本集團非以公允價值衡量之金融資產及金融負債之公允價值資訊請詳附註(十二)之6.(3)說明。

(2) 公允價值之三等級定義：

第一等級：

該等級之輸入值係指工具於活絡市場中，相同工具之活絡市場公開報價。活絡市場係指符合以下所有條件之市場：在市場交易之商品具同質性；隨時可於市場中尋得具意願之買賣雙方且價格資訊可為大眾取得。本集團投資之上市櫃股票投資、受益憑證、屬於熱門券之臺灣中央政府債券投資及有活絡市場公開報價之衍生工具等公允價值皆屬之。

第二等級：

該等級之輸入值除活絡市場公開報價以外之可觀察價格，包括直接(如價格)或間接(如自價格推導而來)自活絡市場取得之可觀察輸入值。本集團投資之非屬熱門券之公債、公司債、金融債券、可轉換公司債及大部分衍生工具等皆屬之。

第三等級：

該等級之輸入值係指衡量公允價值之投入參數並非根據市場可取得之可觀察輸入值。本集團投資之部份衍生工具及無活絡市場之權益工具投資皆屬之。

(3) 非以公允價值衡量之金融工具

本集團非以公允價值衡量之金融工具，如現金及約當現金、應收票據及帳款、其他應收款、其他金融資產、存出保證金、應付票據及款項、其他應付款及長期借款(含一年或一營業週期內到期者)之帳面金額，係公允價值合理之近似值。

(4) 公允價值之等級資訊：

本集團之以公允價值衡量之金融工具係皆以重複性為基礎按公允價值衡量，本集團之公允價值等級資訊如下表所示：

	115 年 6 月 30 日			
項　　目	第一等級	第二等級	第三等級	合　計
資　　產				
重複性公允價值				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產	$ -	$ -	$ 79,464	$ 79,464

	114 年 12 月 31 日			
項　　目	第一等級	第二等級	第三等級	合　計
資　　產				
重複性公允價值				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產	$ -	$ -	$ 66,430	$ 66,430

項　　目	114年6月30日 第一等級	第二等級	第三等級	合　計
資　　產				
重複性公允價值				
透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產	$ -	$ -	$ 83,154	$ 83,154

(5) 以公允價值衡量之工具的公允價值評價技術：

A. 金融工具如有活絡市場公開報價時，則以活絡市場之公開報價為公允價值。主要交易所及經判斷為熱門券之中央政府債券櫃台買賣中心公告之市價，皆屬上市(櫃)權益工具及有活絡市場公開報價之債務工具公允價值之基礎。

若能及時且經常自交易所、經紀商、承銷商、產業公會、訂價服務機構或主管機關取得金融工具之公開報價，且該價格代表實際且經常發生之公平市場交易者，則該金融工具有活絡市場公開報價。如上述條件並未達成，則該市場視為不活絡。一般而言，買賣價差甚大、買賣價差顯著增加或交易量甚少，皆為不活絡市場之指標。

本集團持有之金融工具如屬有活絡市場者，其公允價值依類別及屬性列示如下：

上市櫃公司股票： 收盤價。

B. 除上述有活絡市場之金融工具外，其餘金融工具之公允價值係以評價技術或參考交易對手報價取得。透過評價技術所取得之公允價值可參照其他實質上條件及特性相似之金融工具之現時公允價值、現金流量折現法或以其他評價技術，包括以合併資產負債表日可取得之市場資訊運用模型計算而得(例如櫃買中心參考殖利率曲線、Reuters 商業本票利率平均報價)。

本集團持有之無活絡市場之未上市(櫃)公司股票主係以市場法估計公允價值，其判定係參考同類型公司評價、第三方報價、公司淨值及營運狀況評估之。另其重大不可觀察輸入值主要為流動性折價，惟因流動性折價的可能變動不會導致重大的潛在財務影響，故不擬揭露其量化資訊。

C. 評價模型之產出係預估之概算值，而評價技術可能無法反映本集團持有金融工具及非金融工具之所有攸關因素。因此評價模型之預估值會適當地根據額外之參數予以調整，例如模型風險或流動性風險等。根據本集團之公允價值評價模型管理政策及相關之控制程序，管理階層相信為允當表達合併資產負債表中金融工具及非金融工具之公允價值，評價調整係屬適當且必要。在評價過程中所使用之價格資訊及參數係經審慎評估，且適當地根據目前市場狀況調整。

D. 本集團將信用風險評價調整納入金融工具及非金融工具公允價值計算考量，以分別反映交易對手信用風險及本集團信用品質。

(6) 115年及114年1至6月均無第一等級與第二等級間之移轉。

(7) 第三等級之變動明細表如下：

項　　目	權益工具
115 年 1 月 1 日	$ 66,430
購買	15,000
認列於其他綜合損益之利益或損失	(1,966)
115 年 6 月 30 日	$ 79,464

項　　目	權益工具
114 年 1 月 1 日	$ 98,670
認列於其他綜合損益之利益或損失	(15,516)
114 年 6 月 30 日	$ 83,154

(8) 重大不可觀察輸入值(第三等級)之公允價值衡量之量化資訊：

	115 年 6 月 30 日（公允價值）	評價技術	重大不可觀察輸入值	區間（加權平均）	輸入值與公允價值關係
非衍生金融資產：					
非上市櫃公司股票	$ 79,464	可類比公司法	市場價值乘數比	1.21~3.02	價值倍數愈高，公允價值愈高
			流動性折價比率	10%~31.02%	流通性折價愈高，公允價值愈低

	114 年 12 月 31 日（公允價值）	評價技術	重大不可觀察輸入值	區間（加權平均）	輸入值與公允價值關係
非衍生金融資產：					
非上市櫃公司股票	$ 66,430	可類比公司法	市場價值乘數比	1.23~3.27	價值倍數愈高，公允價值愈高
			流動性折價比率	10%~32.28%	流通性折價愈高，公允價值愈低

	114 年 6 月 30 日（公允價值）	評價技術	重大不可觀察輸入值	區間（加權平均）	輸入值與公允價值關係
非衍生金融資產：					
非上市櫃公司股票	$ 83,154	可類比公司法	市場價值乘數比	1.35~3.62	價值倍數愈高，公允價值愈高
			流動性折價比率	10%~32.28%	流通性折價愈高，公允價值愈低

(9) 公允價值歸類於第三等級之評價流程：

本集團對公允價值歸類於第三等級之評價流程係由財會部門負責進行金融工具之公允價值驗證，藉獨立來源資料使評價結果貼近市場狀態、確認資料來源係獨立、可靠、與其他資料來源一致以及代表可執行價格，並定期校準評價模型、進行回溯測試、更新評價模型所需輸入值及資料及其他任何必要之公允價值調整，以確保評價結果係屬合理。

(10) 對第三等級之公允價值衡量、公允價值對合理可能替代假設之敏感度分析：

			115 年 6 月 30 日			
			認列於損益		認列於其他綜合損益	
	輸入值	變動	有利變動	不利變動	有利變動	不利變動
金融資產						
權益工具						
非上市櫃股票	流通性折價	1%	$ -	$ -	$ 869	($ 869)
	價值倍數	1%	$ -	$ -	$ 795	($ 795)

			114 年 12 月 31 日			
			認列於損益		認列於其他綜合損益	
	輸入值	變動	有利變動	不利變動	有利變動	不利變動
金融資產						
權益工具						
非上市櫃股票	流通性折價	1%	$ -	$ -	$ 865	($ 865)
	價值倍數	1%	$ -	$ -	$ 664	($ 664)

			114 年 6 月 30 日			
			認列於損益		認列於其他綜合損益	
	輸入值	變動	有利變動	不利變動	有利變動	不利變動
金融資產						
權益工具						
非上市櫃股票	流通性折價	1%	$ -	$ -	$ 461	($ 447)
	價值倍數	1%	$ -	$ -	$ 832	($ 832)

(十三)附註揭露事項

1. 重大交易事項相關資訊(合併沖銷前)
   (1) 資金貸與他人者：附表一。
   (2) 為他人背書保證者：附表二。
   (3) 期末持有之重大有價證券：附表三。
   (4) 與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者:無。
   (5) 應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上者：無。
   (6) 母子公司間業務關係及重大交易往來情形：附表四。
2. 轉投資事業相關資訊(合併沖銷前)：附表五。
3. 大陸投資資訊(合併沖銷前)：無。

(十四)部門資訊

1. 本集團目前有三個應報導部門,國內營運一部、國內營運二部及國內營運三部。主要業務如下:

國內營運一部－國軍標案商品買賣、家電及無店面零售、其他零售等之製造及買賣、銷售業務。

國內營運二部－從事電子零組件、玻璃及玻璃製品、電腦及其週邊設備等加工製造及銷售業務。

國內營運三部－從事電子零件產品之製造加工買賣業務、電器及視聽電子暨其周邊設備買賣及設計、機械設備之製造加工買賣業務、資料儲存媒體製造及複製業務及前項有關產品之進出口貿易業務。

2. 本集團呈報主要部門別資訊之基礎:

係以策略性事業單位為基礎,各有其管理團隊及提供不同產品及勞務,由於每一策略性事業單位需要不同之技術及行銷策略,故該策略性事業單位分別管理及呈報營運決策者。

3. 本集團未分攤所得稅費用(利益)或非經常發生之損益至應報導部門。此外,並非所有應報導部門之損益均包含折舊與攤銷外之重大非現金項目。報導之金額與營運決策者使用之報告一致。

營運部門之會計政策皆與合併報告附註(四)所述之重要會計政策彙總說明相同。本集團營運部門損益係以稅前營業損益(不包括非經常發生之損益及匯兌損益)衡量,並作為評估績效之基礎。本集團將部門間之銷售及移轉,視為與第三人間之交易,以現時市價衡量。

4. 部門財務資訊

(1) 115年1至6月

單位:新台幣仟元

項　目	國內營運一部	國內營運二部	國內營運三部	調節及銷除	合　計
營業收入:					
來自外部客戶收入	$ 166,042	$ 38,866	$ 86,768	$ -	$ 291,676
部門間收入	-	12,504	-	(12,504)	-
收入合計	$ 166,042	$ 51,370	86,768	($ 12,504)	$ 291,676
部門損益	($ 61,376)	($ 23,494)	($ 21,556)	$ 23,564	($ 82,862)
部門資產	$1,091,216	$ 516,939	$ 384,455	($ 209,360)	$ 1,783,250
部門負債	$ 710,368	$ 201,412	$ 296,825	($ 35,003)	$ 1,173,602

註:部門損益不包含所得稅費用。

(2) 114年1至6月

單位：新台幣仟元

項　目	國內營運一部	國內營運二部	國內營運三部	調節及銷除	合　計
營業收入：					
來自外部客戶收入	$ 46,686	$ 28,383	$ 143,780	$ -	$ 218,849
部門間收入	85	-	-	(85)	-
收入合計	$ 46,771	$ 28,383	$ 143,780	($ 85)	$ 218,849
部門損益	($ 34,926)	($ 19,150)	($ 6,747)	$ 13,845	($ 46,978)
部門資產	$ 947,217	$ 539,907	$ 459,009	($ 263,136)	$ 1,682,997
部門負債	$ 528,289	$ 176,394	$ 329,162	($ 21,325)	$ 1,012,520

註：部門損益不包含所得稅費用。

附表一

翔耀實業股份有限公司及其子公司
資金貸與他人者
民國 115 年 6 月 30 日

單位：美元元、新台幣仟元

編號	貸出金額之公司	貸與對象	往來科目	是否為關係人	本期最高餘額	期末餘額（註五）	實際動支金額	利率區間	資金貸與性質（註二）	業務往來金額	有短期融通資金必要之原因	提列備抵呆帳金額	擔保品		對個別對象資金貸與限額（註三）	資金貸與總限額（註三）
													名稱	價值		
1	勁耘科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	其他應收款	是	$ 25,000	$ 20,000	$ 20,000	3.12%	2	$ -	營業週轉	$ -	無	$ -	$ 63,105	$ 315,527
2	嵩達光電科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	其他應收款	是	20,000	-	-	3.37%	2	-	營業週轉	-	無	-	17,526	35,052

註 1：編號欄之說明如下:

(1)本公司填 0。

(2)被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：資金貸與性質之填寫方法如下：

(1) 有業務往來者填 1。

(2) 有短期融通資金之必要者填 2。

註 3：本公司及子公司資金貸與他人限額如下：

(1)與本公司有業務往來之公司或行號，個別貸與資金金額以不超過雙方間業務往來金額為限，所稱業務往來金額係指雙方間進貨或銷貨金額孰高者。本公司資金貸與他人之總額以本公司之淨值為限。

(2)有短期融通資金必要之公司或行號，個別貸與累計金額不超過勁耘公司淨值之 20%。資金貸與他人之總額以勁耘公司之淨值為限。

(3)有短期融通資金必要之公司或行號，個別貸與累計金額不超過嵩達公司淨值之 20%。資金貸與他人之總額以嵩達公司之淨值之 40%為限。

註 4：業已於編製合併財務報表沖銷。

附表二

翔耀實業股份有限公司及其子公司
為他人背書保證
民國 115 年 6 月 30 日

單位：外幣仟元；新台幣仟元

編號(註1)	背書保證者公司名稱	被背書保證對象		對單一企業背書保證限額(註3)	本期最高背書保證餘額	期末背書保證餘額	實際動支金額	背書保證以財產設定擔保金額(註4)	累計背書保證金額佔最近期財務報表淨值之比率	背書保證最高限額(註3)	屬母公司對子公司背書保證	屬子公司對母公司背書保證	屬對大陸地區背書保證
		公司名稱	關係(註2)										
1	勁耘科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	(3)	$ 631,054	$ 625,000	$ 385,000	$ 378,500	$ 385,000	122.02%	$ 631,054	N	Y	N
2	嵩達光電科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	(3)	175,260	30,000	30,000	15,000	-	34.23%	175,260	N	Y	N

註 1：編號欄之說明如下：

(1) 發行人填 0。

(2) 被投資公司按公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註 2：背書保證者與被背書保證對象之關係有下列七種，標示種類即可：

(1) 有業務往來之公司。

(2) 公司直接及間接持有表決權之股份超過百分之五十之公司。

(3) 直接及間接對公司持有表決權之股份超過百分之五十之公司。

(4) 公司直接及間接持有表決權股份達百分之九十以上之公司間。

(5) 基於承攬工程需要之同業間或共同起造人間依合約規定互保之公司。

(6) 因共同投資關係由全體出資股東依其持股比率對其背書保證之公司。

(7) 同業間依消費者保護法規範從事預售屋銷售合約之履約保證連帶擔保。

註 3：(1) 勁耘科技股份有限公司背書保證總額以勁耘公司之淨值百分之二百為限，對單一企業之背書保證金額以不超過勁耘公司之淨值百分之二百為為限。

(2) 嵩達光電科技股份有限公司背書保證總額以淨值百分之二百為限，對單一關係企業背書保證金額以淨值百分之二百為限，與本公司有業務往來之公司或行號，個別背書保證金額以不超過雙方間業務往來金額為限。

註 4：勁耘公司係提供其名下土地及建物為本公司金融機構借款設定擔保抵押，設定抵押金額新台幣 385,000 仟元。

註 5：嵩達公司提供其名下定期存款 15,000 仟元(帳列其他金融資產-流動項下)質押作為本公司融資額度之擔保品。

註 6：業已於編製合併財務報表沖銷。

附表三

翔耀實業股份有限公司及其子公司
期末持有之重大有價證券
民國 115 年 6 月 30 日

單位：新台幣仟元

持有之公司	有價證券種類及名稱		與有價證券發行人之關係	帳列科目	期末				備註
					股數/單位	帳面金額	持股比例%	公允價值	
翔耀實業股份有限公司	股票	優美股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	571,498	$ 9,369	3.34%	$ 9,369	
		舒和實業股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	825	8,701	8.29%	8,701	
		衡昱電商股份有限公司		透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	14,545,454	46,394	12.98%	46,394	
		BELL & WYSON SAS	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	222	-	10.00%	-	
嵩達光電科技股份有限公司	股票	翔耀實業股份有限公司	母公司	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	3,000,000	44,700	4.60%	44,700	
		仲碩科技股份有限公司	-	透過其他綜合損益按公允價值衡量之金融資產-非流動	500,000	15,000	2.49%	15,000	

附表四

翔耀實業股份有限公司及其子公司
母子公司間業務關係及重大交易往來情形
民國 115 年 6 月 30 日

單位：新台幣仟元

編號(註一)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係(註二)	交易往來情形				備註
				科　　目	金　　額	交易條件	佔合併總營收或總資產之比率	
0	翔耀實業股份有限公司	勁耘科技股份有限公司	1	其他收入	$ 1,200	依合約規定	0.41%	
1	勁耘科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	2	其他營業收入	12,504	月結 30 天收款	4.29%	
				利息收入	316	依借款合約規定	0.11%	
				租金收入	514	依租賃契約規定	0.18%	
				其他收入	1,800	依合約規定	0.62%	
				應收帳款	14,131	月結 30 天收款	0.79%	
				其他應收款	20,000	依借款合約規定	1.12%	
				背書保證	378,500	依背書保證作業程序	-	
		嵩達光電科技股份有限公司	3	租金收入	686	依租賃契約規定	0.24%	
2	嵩達光電科技股份有限公司	翔耀實業股份有限公司	2	利息收入	26	依借款合約規定	0.01%	
				其他收入	300	依合約規定	0.10%	
				背書保證	15,000	依背書保證作業程序	-	

註一：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

1. 母公司填 0。
2. 子公司依公司別由阿拉伯數字 1 開始依序編號。

註二：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可：

1. 母公司對子公司。
2. 子公司對母公司。
3. 子公司對子公司。

註三：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債科目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益科目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。

註四：非屬重大之交易，本表未列入；惟編製合併財務報表時，不論交易是否重大，皆已全數銷除。

附表五

翔耀實業股份有限公司及其子公司
轉投資公司名稱、所在地區…等相關資訊
民國 115 年 6 月 30 日

單位：新台幣仟元

投資公司名稱	被投資公司名稱	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司本期(損)益	本期認列之投資(損)益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率%	帳面金額			
翔耀實業股份有限公司	勁耘科技股份有限公司	台南市	電子零組件、玻璃及玻璃製品、電腦及其週設備等加工製造及銷售業務	$ 212,091	$ 212,091	18,057,651	53.45%	$ 155,425	($ 23,494)	($ 12,558)	子公司
	Sino Digit Technology Limited	Hong Kong	IT 產品與服務業務	18,329	18,329	註 1	27.00%	-	-	-	本公司按權益法評價之被投資公司(註 2)
	家庭雲端股份有限公司	臺北市	網路購物商品販售	30,000	30,000	3,000,000	33.13%	17,479	1,982	657	本公司按權益法評價之被投資公司
勁耘科技股份有限公司	嵩達光電科技股份有限公司	宜蘭縣	電子零組件、電器及視聽電子產品等產銷業務	132,771	142,971	14,618,815	49.90%	112,937	(21,556)	(11,229)	子公司(註 3)

註 1：係有限公司，故無股數。

註 2：由於本公司已無能力持續支持該公司繼續營運，故對該等公司投資損益之認列至投資金額為 0 千元為止。

註 3：被投資公司本期損益與投資公司本期認列之投資損益之差異主係可辨認資產公允價值與帳面價值間差異。

註 4：上述交易於編製合併報表時業已沖銷。